

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

< 第8週 > マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.5-11

< インフルエンザ > 第8週の定点当たり報告数は18.4となり、第2週以降、7週連続して増加が続いている
< 麻しん > 2007年第1週からの2カ月間での累積報告数は95例である



病原体情報
P.12-15

インフルエンザウイルス 2006/07シーズン / 感染性胃腸炎関連ウイルス 2006/07シーズン



速報
P.16-17

2007年2月に福岡市の複数医療機関で採取された検体から分離されたAH1亜型ウイルスの抗原性 - 今後の抗原変異株の流行の可能性について



海外感染症情報
P.18

ラオスでの鳥インフルエンザ流行状況 / 中国での鳥インフルエンザ流行状況 / エジプトでの鳥インフルエンザ流行状況



感染症の話
P.19

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(8週)
P.20-26



8週のデータ
P.27-38



発生動向総覧

2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。

< 第8週コメント > 2月28日集計分

全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることとなります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

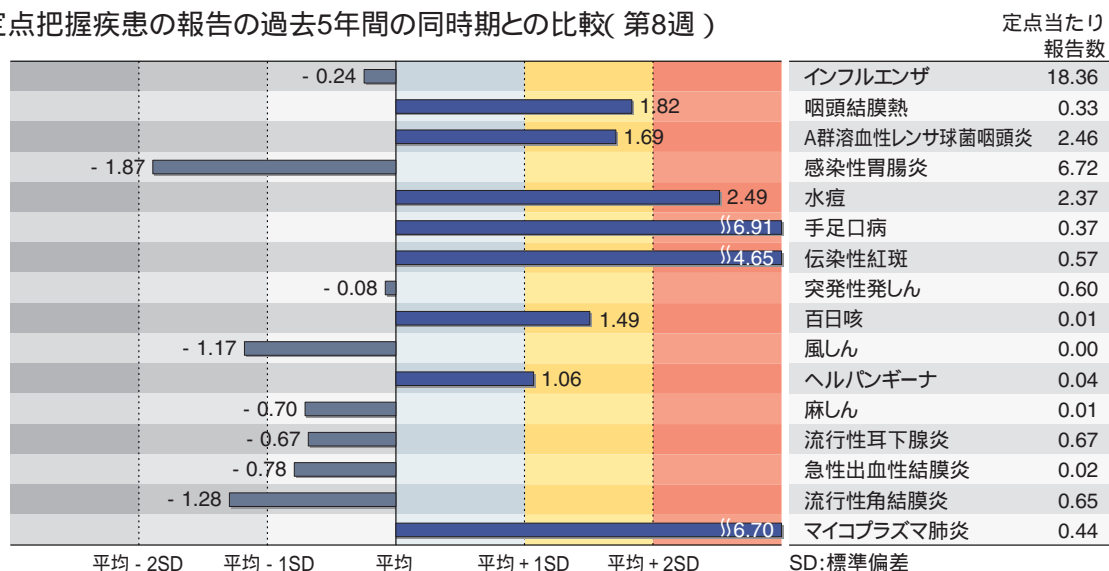
- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 細菌性赤痢 3例
(感染地域: ネパール1例、インド1例、エチオピア1例)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 7例(うち有症者2例、HUSなし)
報告の多い感染地域: 大阪府2例
年齢群: 10歳未満(1例)、10代(1例)、20代(2例)、30代(2例)、60代(1例)
血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(3例)、O91 VT1(2例)、O157 VT2(2例)
- 4類感染症: A型肝炎 5例(感染地域: 千葉県1例、新潟県1例、静岡県1例、韓国1例、インドネシア1例)
オウム病 1例(感染源: セキセイインコ)
デング熱 3例(感染地域: インドネシア2例、フィリピン1例)
マラリア 1例(三日熱__感染地域: マリ)
レジオネラ症 4例(肺炎型3例、ポンティアック型1例)
年齢群: 50代1例、60代1例、70代1例、90代1例
感染地域: 群馬県1例、愛知県1例、山口県1例、国内(都道府県不明)1例
- 5類感染症: アメーバ赤痢 6例(腸管アメーバ症4例、腸管外アメーバ症2例)
感染地域: 国内5例、中国1例
感染経路: 経口2例、性的接触(異性間)1例、不明3例
急性脳炎 1例〔RSウイルス(0歳)〕
クロイツフェルト・ヤコブ病 2例(ともに孤発性プリオン病古典型)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例(30代・血清群: A群)
後天性免疫不全症候群 12例(無症候8例、AIDS 4例)
感染地域: 国内11例、国内/国外(国不明)1例
感染経路: 性的接触10例(異性間3例、同性間6例、同性間・異性間不明1例)、不明2例
梅毒 6例(早期顕症I期3例、早期顕症II期1例、無症候2例)
破傷風 1例(90代)
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2例
(遺伝子型: VanA 1例__菌検出検体: 腹水 . 遺伝子型: 不明1例__菌検出検体: 尿)

(補)他にオウム病1例の報告があったが、削除予定。また2007年分の報告遅れとして、細菌性赤痢1例(感染地域: インドネシア)、E型肝炎1例(感染地域: 滋賀県、感染源: 山菜)、急性脳炎3例(A型インフルエンザウイルス1例(10代)、病原体不明2例(7歳1例、10代1例))、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(60代・血清群: A群)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第8週)



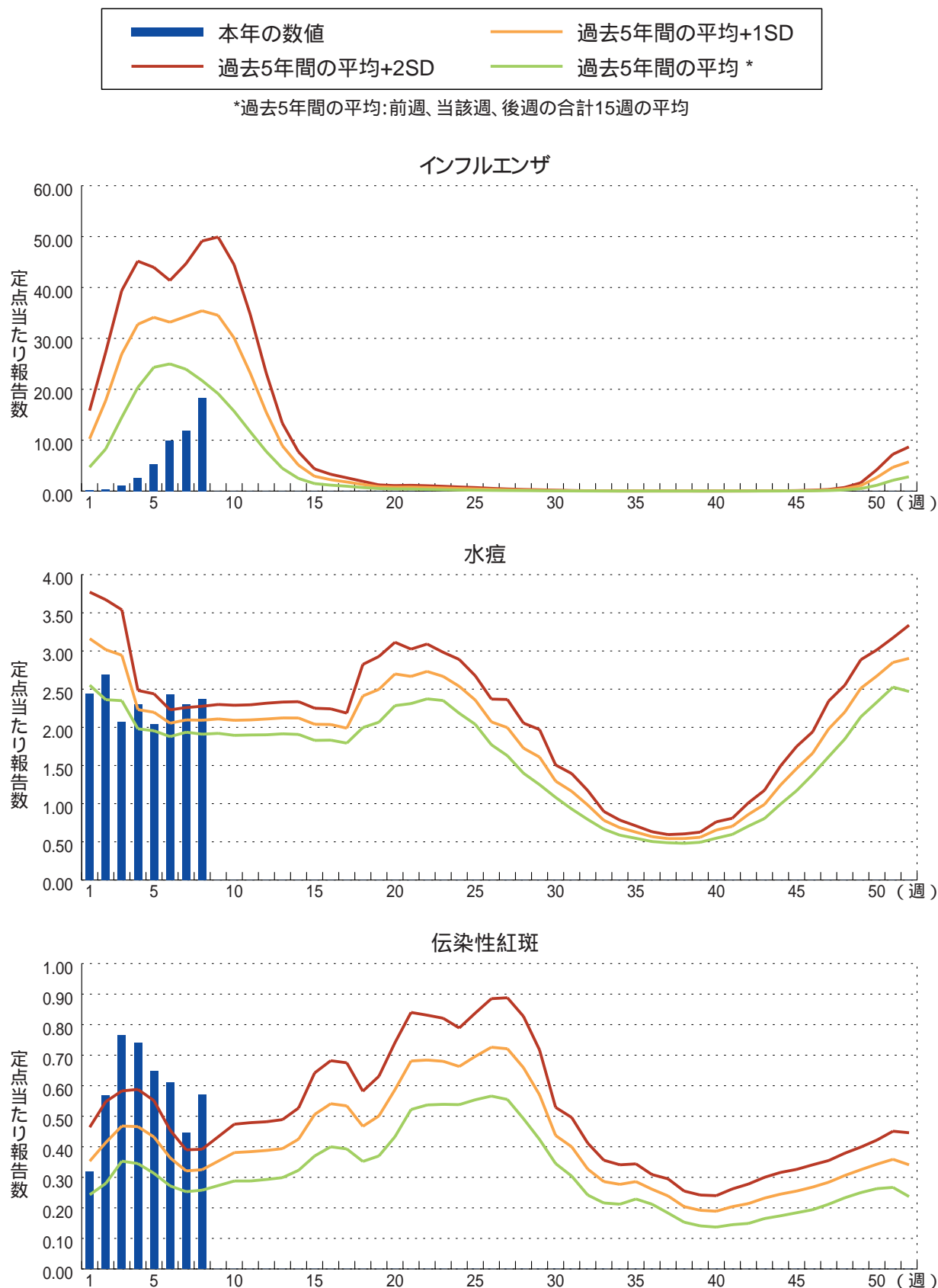
当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第2週以降増加が続いている。都道府県別では福岡県(34.2)、三重県(33.4)、愛知県(33.1)、福井県(26.1)、大分県(25.0)、大阪府(24.6)、宮崎県(24.0)が多い。

小児科定点報告疾患: RSウイルス感染症は1,214例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の78%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してもやや多い。都道府県別では富山県(1.45)、山形県(0.93)、鳥取県(0.89)、青森県(0.83)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してもやや多い。都道府県別では富山県(8.3)、鳥取県(6.1)、新潟県(5.4)、石川県(4.5)、愛媛県(4.5)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では熊本県(13.2)、宮崎県(12.1)、愛媛県(11.6)、福井県(11.6)が多い。水痘の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してもかなり多い。都道府県別では大分県(6.4)、沖縄県(5.4)、宮崎県(5.1)、鹿児島県(3.6)が多い。手足口病の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してもかなり多い。都道府県別では宮崎県(4.2)、長崎県(2.4)、鹿児島県(1.8)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してもかなり多い。都道府県別では富山県(3.2)、石川県(1.7)、長野県(1.4)、福井県(1.4)が多い。百日咳の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してもやや多い。都道府県別では栃木県(0.13)、岩手県(0.03)、東京都(0.03)、石川県(0.03)、大分県(0.03)、沖縄県(0.03)が多い。風しんの定点当たり報告数は微減した。都道府県別では大阪府4例、神奈川県2例、東京都、高知県から各1例の報告であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してもやや多い。都道府県別では山口県(0.53)、熊本県(0.25)、岡山県(0.24)が多い。麻しんの定点当たり報告数は増加した。都道府県別では埼玉県から11例、大阪府4例、千葉県3例、宮城県、東京都、神奈川県、福岡県から各1例の報告であった。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では新潟県(2.9)、宮崎県(2.5)、青森県(1.4)が多い。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県(5.1)、青森県(1.8)、岡山県(1.6)が多い。成人麻しんは群馬県から1例の報告があった。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2007年第1～8週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

インフルエンザ

インフルエンザはインフルエンザウイルスによる感染症であり、感染の標的は鼻咽頭、気管支などである。一般的に、急激に発症する38 以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などに加えて、咽頭痛、鼻汁、咳などの症状もみられる。大多数の人では特別な治療なしに1週間程度で自然治癒するが、乳幼児、高齢者、基礎疾患を有する人では肺炎を併発したり、あるいは基礎疾患の悪化を招いたりして、死に至ることもありうる。インフルエンザは全身症状を伴い、重症化することが比較的多い点で通常の感冒(いわゆるかぜ)とは異なるが、加えて基本的に流行性疾患であり、一旦本格的な流行が始まると、短期間(2～3カ月間)に乳幼児から高齢者まで膨大な数の人を巻き込むことも特徴的である。

感染症発生動向調査によると、2007年第8週の定点当たり報告数は18.4(報告数87,833)となり、第2週以降、7週連続して増加が続いている(図1)。都道府県別では福岡県(34.2)、三重県(33.4)、愛知県(33.1)、福井県(26.1)、大分県(25.0)、大阪府(24.6)、宮崎県(24.0)、山形県(23.9)の順である。全国平均を上回っている府県は近畿、中部、九州地方に多く、中国・四国地方、山形県を除く東北地方、北海道の各道県は全国平均を下回っている(図2)。2006年第36週以降の累積報告数は238,136例であり、年齢別では5～9歳が29.6%と最も多く、次いで10～14歳(23.4%)、0～4歳(19.2%)の順となっている(図3)。例年と比べて、0～14歳の割合が増加している状況に変わりはない。

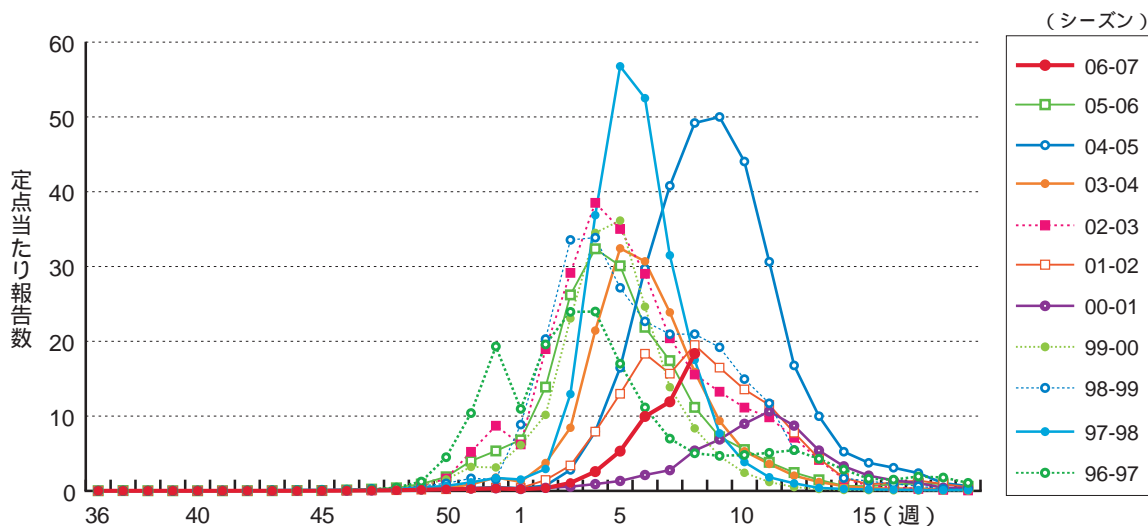


図1. インフルエンザのシーズン別・週別発生状況(1996年第36週～2007年第8週)

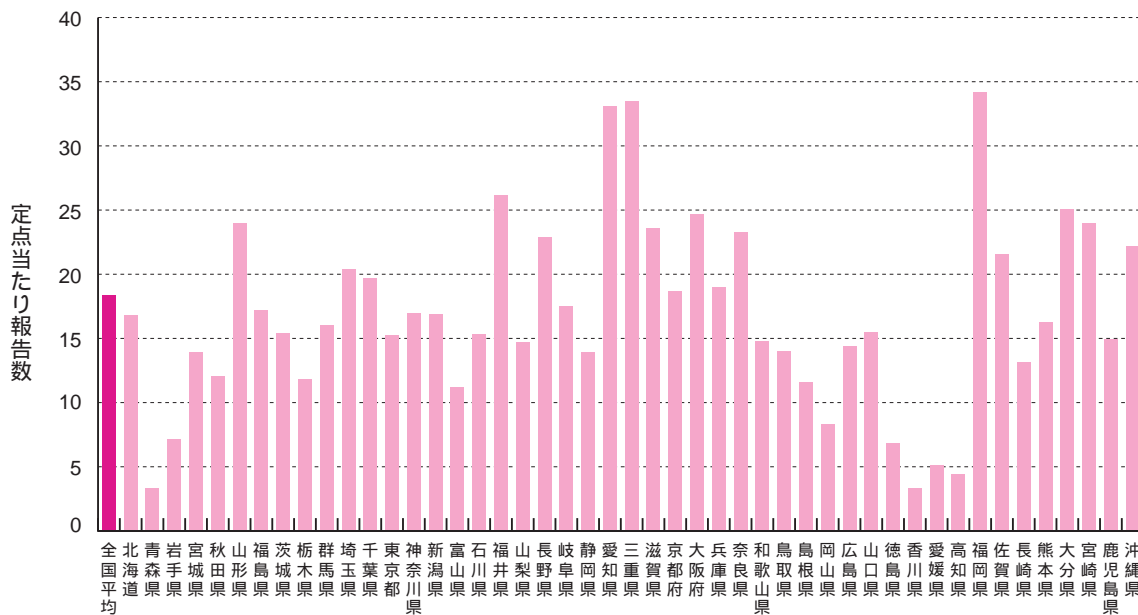


図2. インフルエンザの都道府県別報告状況(2007年第8週)

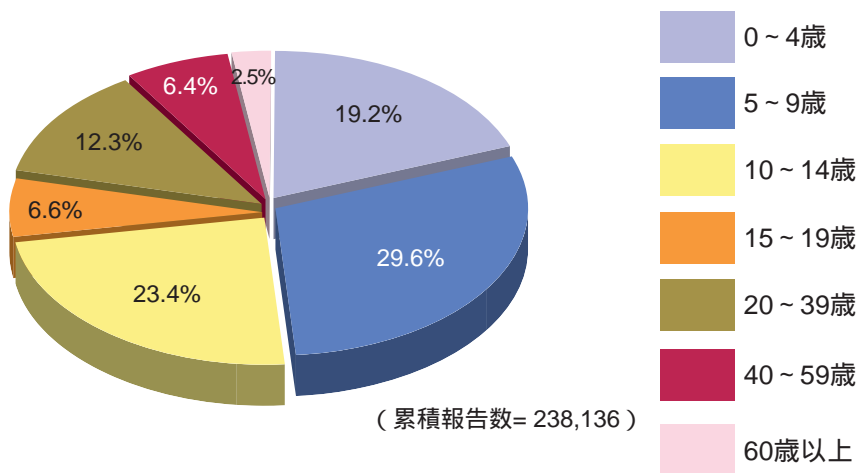
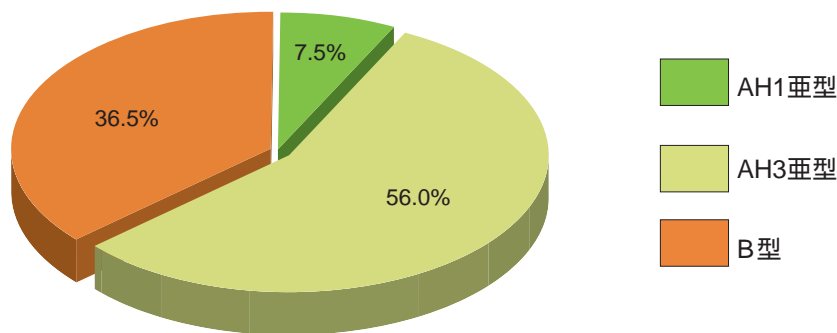


図3. インフルエンザの報告症例の年齢別割合(2006年第36週～2007年第8週)

第36週以降これまでに全国の衛生研究所から報告されたインフルエンザウイルスの分離報告(総報告数935)では、AH3亜型(A香港型)56.0%(報告数524例)、B型36.5%(341例)、AH1亜型(Aソ連型)7.5%(70例)である(図4)。依然としてAH3亜型が最多であるが、最近ではB型の報告も増加している(図5)。



総報告数=935

図4. 2006/07シーズンにおけるインフルエンザウイルスの分離状況 (2006年第36週～2007年第8週)

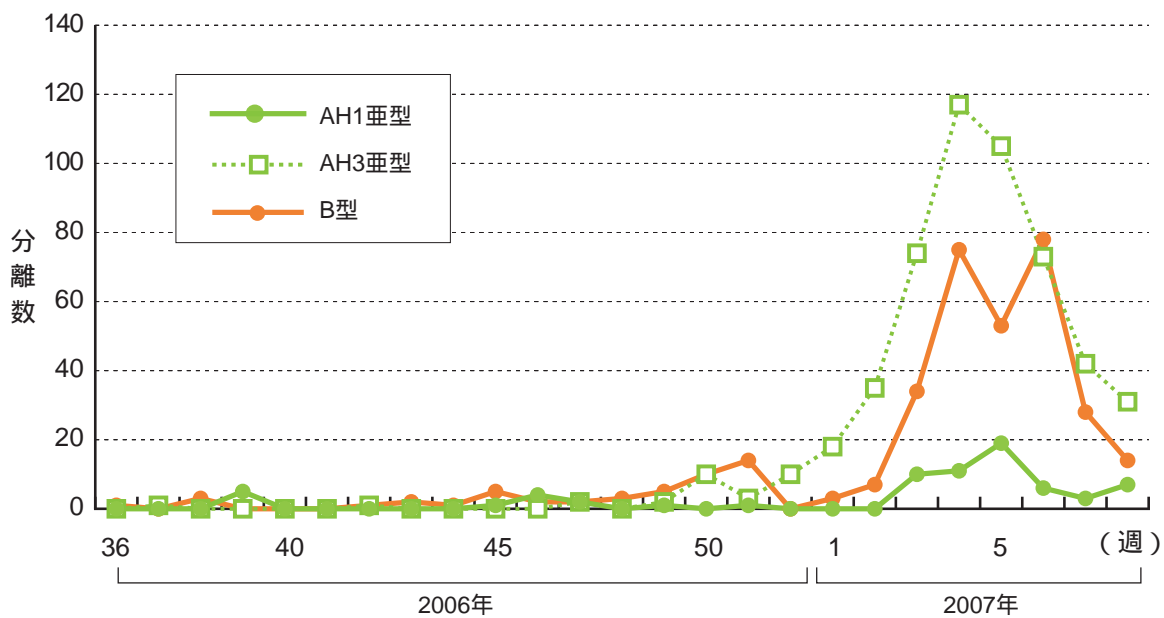


図5. 2006/07シーズンにおけるインフルエンザウイルス分離の週別推移 (2006年第36週～2007年第8週)

1996/97シーズンから昨シーズン(2005/06)までの過去10シーズンをみると、12月中に流行が開始した(定点当たり報告数 > 1.0)シーズンが7回あり、1月中が2回、2月が1回であった。流行のピークは流行開始時期によって異なっているが、流行開始からピークまでの期間は6週が6回、7週が3回、5週が1回となっている(表1)。今シーズンの流行は1月中旬(2007年第3週)から始まっており、第8週は流行開始から5週後にあたっている。したがって、間もなく流行のピークとなることも予想される。今後とも、インフルエンザの発生動向には注意が必要である。

表1. 1996/97シーズン以降の各シーズンにおけるインフルエンザの流行開始時期、流行ピーク時期、およびそれらの間の期間

シーズン	96/97	97/98	98/99	99/00	00/01	01/02	02/03	03/04	04/05	05/06	06/07
流行開始	1996年 第49週	1997年 第51週	1998年 第50週	1999年 第50週	2001年 第5週	2002年 第2週	2002年 第50週	2003年 第52週	2005年 第3週	2005年 第50週	2007年 第3週
流行のピーク	1997年 第4週	1998年 第5週	1999年 第4週	2000年 第5週	2001年 第11週	2002年 第8週	2003年 第4週	2004年 第5週	2005年 第9週	2006年 第4週	-
開始からピーク までの期間	7週間	7週間	6週間	7週間	6週間	6週間	6週間	5週間	6週間	6週間	-

“シーズン”とは、前年の第36週から翌年の第35週までの期間

麻疹

麻疹は空気感染(飛沫核感染)、飛沫感染、接触感染と様々な感染経路を示す疾患であり、その感染力は極めて強い。麻疹に対して免疫を有しない者が感染した場合は、10日間前後の潜伏期を経て発症し、カタル期(2～4日間)、発疹期(3～5日間)、回復期へと続いていく。特異的な治療法はないが、先進国では栄養状態の改善や対症療法の発達等により、致死率は0.1～0.2%にまで低下している。しかし、2000年の大阪での流行時には合併症発症率が約30%、平均入院率が約40%と示されており、未だ重篤な疾患であることには変わりはない(感染症情報センターホームページ「麻疹の現状と今後の対策について」http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/report2002/measles_top.html#m_fig2)。また、最近では麻疹ワクチン接種者の一部に修飾麻疹を発症するケースがしばしば認められる。この場合は発熱、発疹共に軽微であることが多く、麻疹とは気付かれないままに、周囲への感染源となっている場合が少なくないと思われる。

感染症発生動向調査によると、2006年1年間の小児科定点からの麻疹報告数は519例(暫定値)であり、2005年の537例に続いて、2年連続して1,000例以下となった。また、2007年に入っても過去2年間と同様に低い状態が続いている(感染症週報2007年第5週号「注目すべき感染症」)(図1)。しかし、関東南部地域(埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県)での発生は現在に至るまで継続しており、特に埼玉県では第8週の報告数は11例(1保健所より10例)と増加している(図2)。現在、麻疹は全数報告ではなく、全国約3,000カ所の小児科定点からの報告であり、実際の発生数はこの約10倍程度にのぼるものと思われる。2006年第36週～2007年第8週の約6カ月間では、小児科定点からの累積報告数は211例であり、都道府県別では埼玉県(55)、愛知県(30)、東京都(16)、神奈川県(14)、千葉県(13)の順となっている(図3)。また、2007年第1週からの2カ月間での累積報告数は95例である。愛知県における患者発生はこの6カ月間継続してみられており、埼玉県を中心とした関東南部地域及び愛知県においては、地域的な流行が生じていると考えられる。

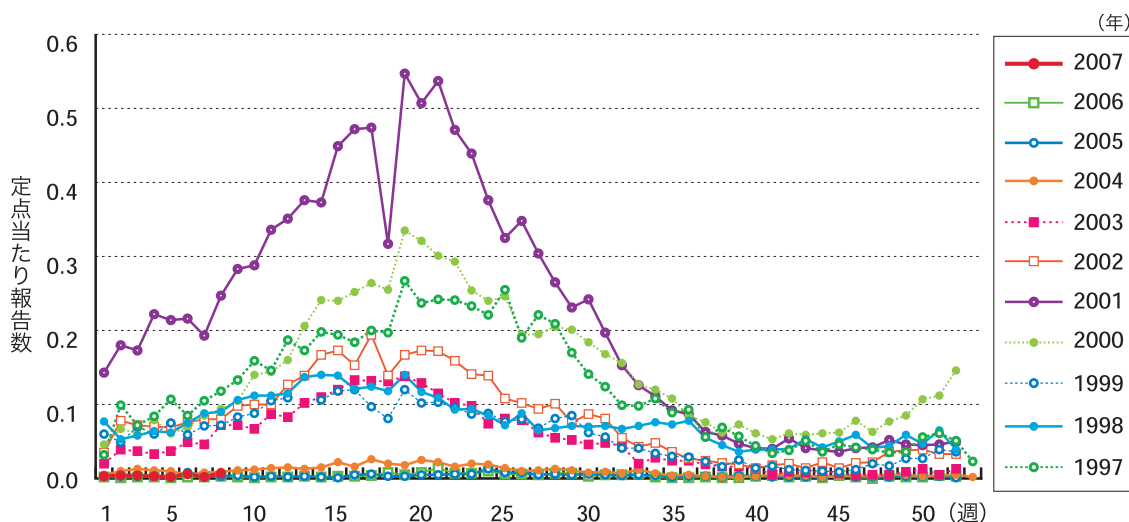


図1. 麻疹の年別・週別発生状況(1997年～2007年第8週)

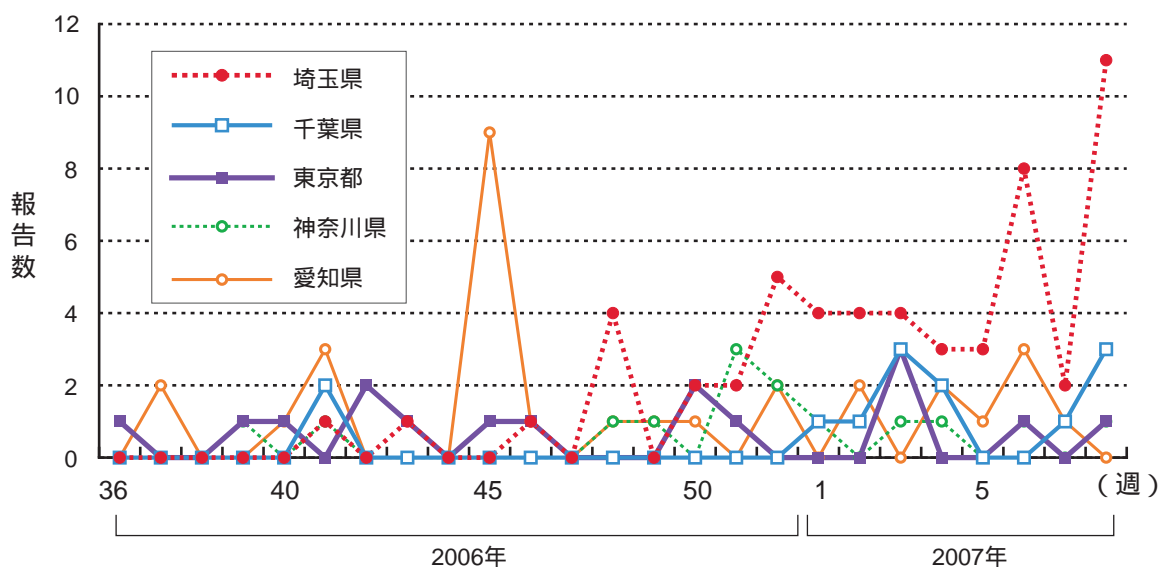


図2. 主要都道府県における麻しんの報告の週別推移(2006年第36週～2007年第8週)

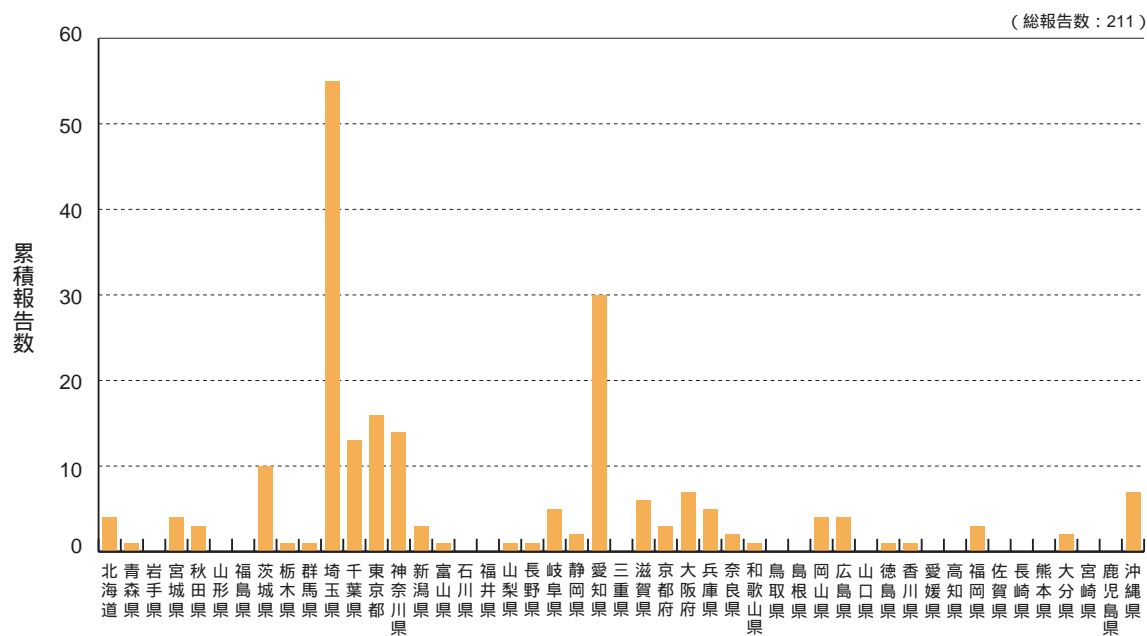


図3. 麻しんの都道府県別累積報告数(2006年第36週～2007年第8週)

麻疹は通常春から夏にかけて流行するが、今後、埼玉県を中心とした関東南部地域や愛知県において発生数は更に増加し、流行の規模及び地域が拡大する可能性が危惧される。

麻疹は既に国内からの排除(elimination)を目標とすべき疾患であるが、そのためには地域的な流行を積極的に阻止する必要がある。麻疹の流行を阻止するためには、麻疹関連ワクチンの2回接種を含めたより積極的な勧奨と、1例でも発生すればすぐに対応を講じる等の対策が重要である。今後の麻疹の発生動向には、より注意深い観察が必要である。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2007年3月1日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2006/07シーズン

例年より遅く2007年に入ってからAH3亜型が増加し始め、第3週以降はB型も増加している。

第36週からの累計ではAH1亜型70件、AH3亜型524件、B型341件が報告されている(PCR/抗原検出によるAH1亜型4件、AH3亜型13件、B型6件を含む)。

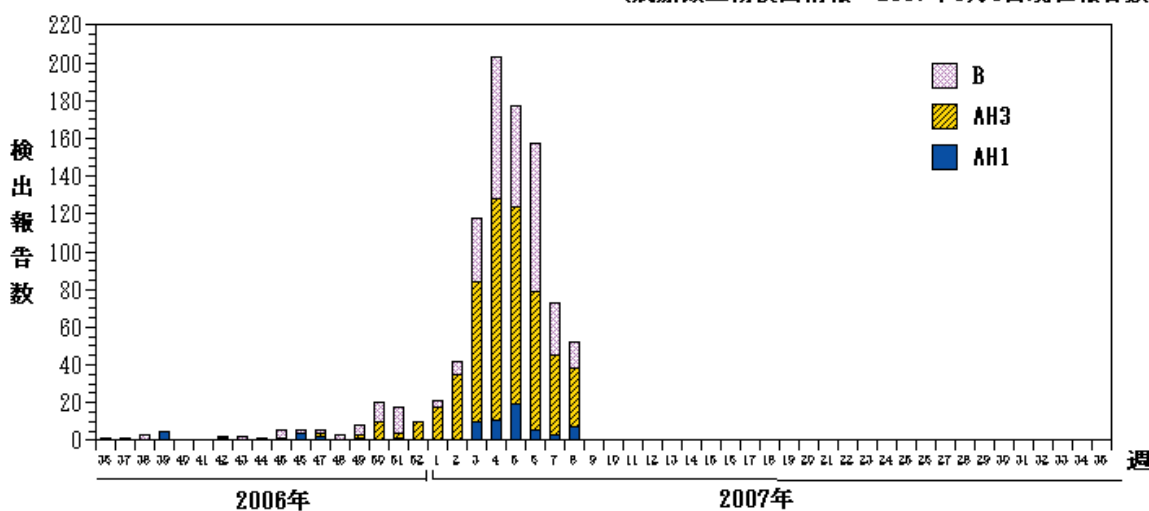
AH1亜型: 第39～51週に14件、2007年第3週10件、第4週11件、第5週19件、第6週6件、第7週3件、第8週7件が報告されている。直近の4週間(第5～8週)では千葉県8件、兵庫県4件、群馬県、神奈川県、福井県、福岡県各3件、栃木県、埼玉県、佐賀県各2件など14府県から報告されている。

AH3亜型: 第37～52週29件、2007年第1週18件、第2週35件、第3週74件、第4週117件、第5週105件、第6週73件、第7週42件、第8週31件が報告されている。第5～8週の4週間では神奈川県46件、北海道35件、石川県24件、宮城県17件、福井県13件、群馬県12件、静岡県、大阪府各11件、兵庫県8件など32道府県から報告されている。

B型: 第36～51週49件、2007年第1週3件、第2週7件、第3週34件、第4週75件、第5週53件、第6週78件、第7週28件、第8週14件が報告されている。第5～8週の4週間では神奈川県44件、静岡県、広島県各17件、北海道15件、長野県10件、愛知県、兵庫県各9件、山梨県、愛媛県各8件など24道府県から報告されている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2006/07シーズン

(病原微生物検出情報: 2007年3月1日現在報告数)

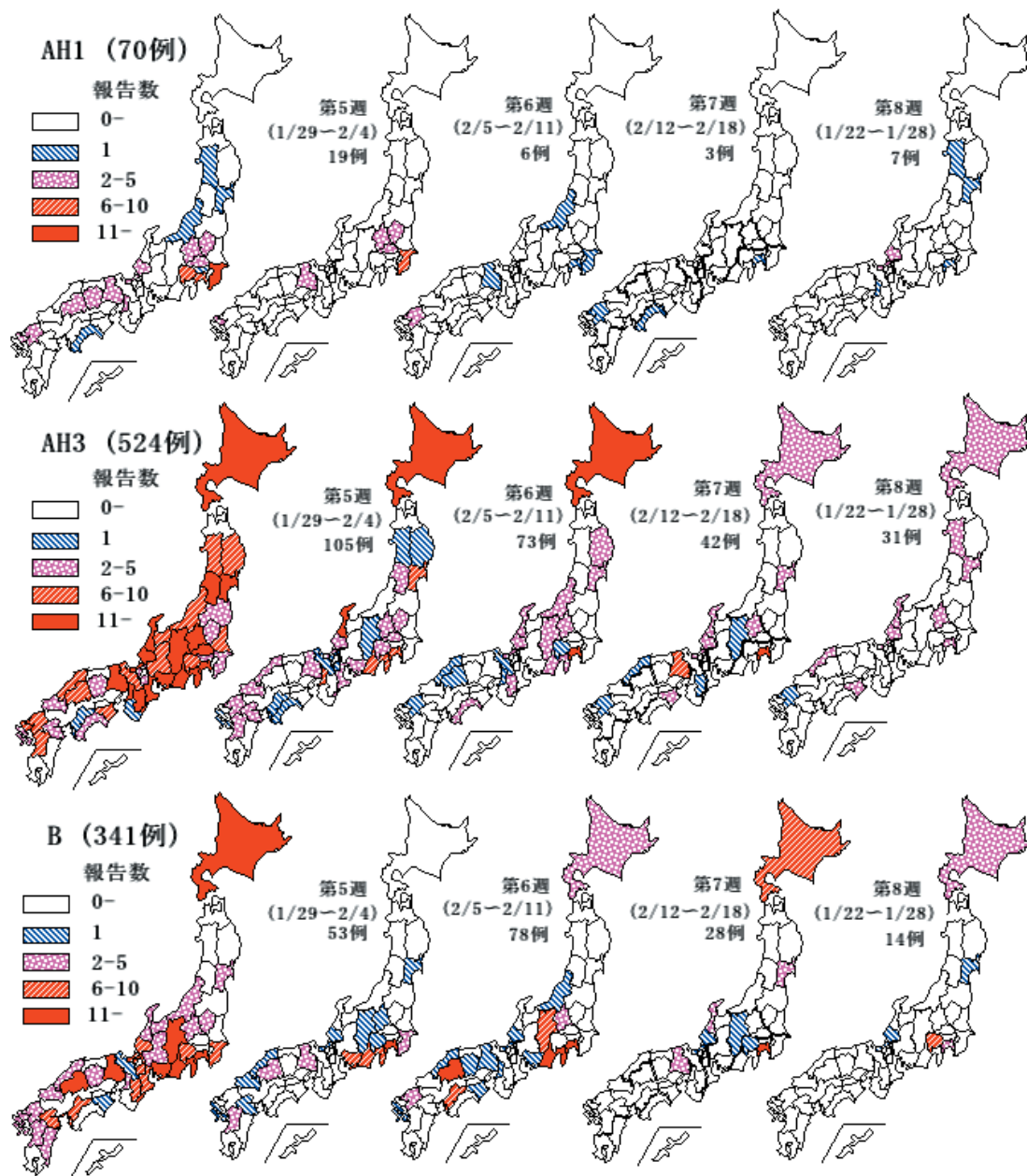


各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2006/07シーズン
(病原微生物検出情報：2007年3月1日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

感染性胃腸炎関連ウイルス 2006/07シーズン

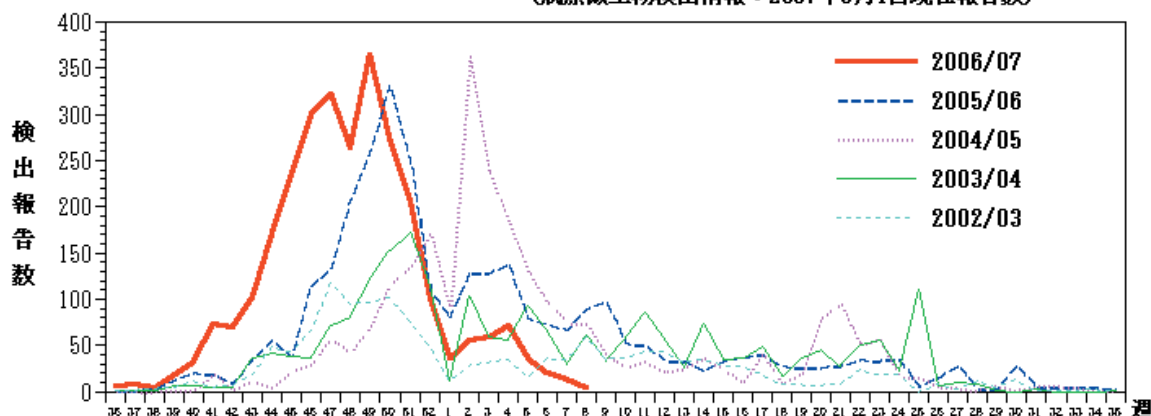
例年より早く2006年第40週より増加が始まり、第36週からの累計ではノロウイルスgenogroup IIが2,598件、genogroup Iが31件、サポウイルスが51件、A群ロタウイルスが85件報告されており、ノロウイルスgenogroup IIが大勢を占めている。

ノロウイルスgenogroup IIは大阪府387件、神奈川県255件、滋賀県218件、岩手県189件、京都府155件、広島県144件、愛媛県140件、高知県111件、岡山県100件など40府県から報告されている。genogroup IIは香川県10件、大阪府5件など16府県から、サポウイルスは高知県15件、熊本県13件、神奈川県8件、愛媛県5件など10県から、A群ロタウイルスは千葉県17件、東京都13件、神奈川県9件、京都府8件、熊本県6件、静岡県、島根県、徳島県各5件など17都府県から報告されている。

また、ノロウイルスgenogroup IIによる施設内感染、食中毒などの集団発生の報告が増加しており、これまでに9月5事例、10月63事例、11月267事例、12月199事例、2007年1月59事例、2月8事例、計601事例が報告されている(このうち10月、11月各1事例、12月3事例ではgenogroup IとIIを検出)。

検出されたgenogroup IIのノロウイルスについて、さらに遺伝子型別まで実施された123事例中119事例はGII/4と報告されている(他には10月にGII/9が1事例、11月にGII/2とGII/6が各1事例、1月にGII/2が1事例)。また、10月1事例、12月3事例、1月1事例ではgenogroup Iが検出され、11月5事例、12月5事例、1月3事例のgenogroupは不明である(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/noro.html>)。

週別SRSV(ノロウイルス、サポウイルス) 検出報告数、過去4シーズンとの比較、2002/03-2006/07シーズン
(病原微生物検出情報：2007年3月1日現在報告数)

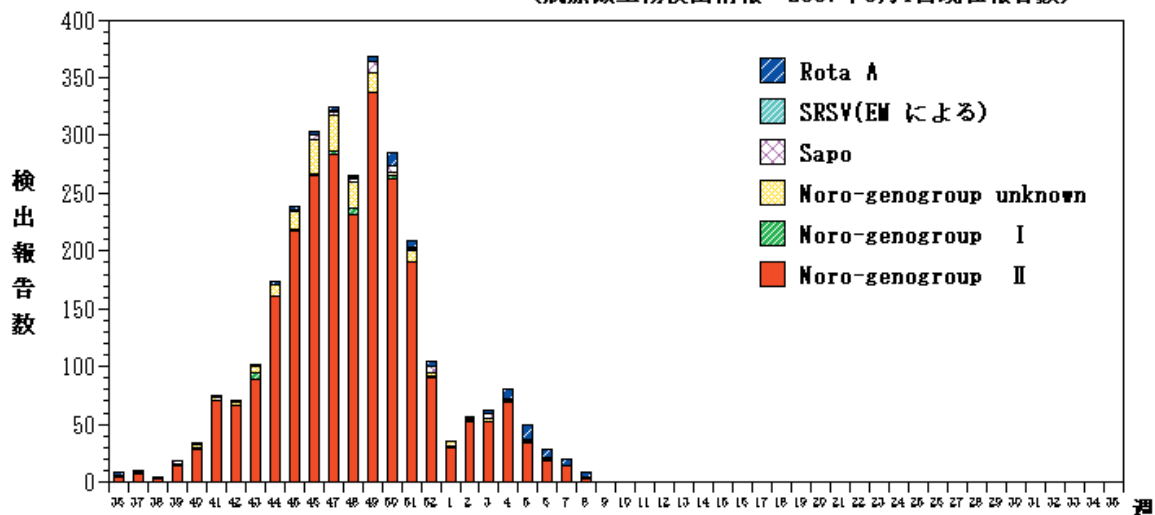


各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別SRSV&ロタウイルスの検出報告数、2006/07シーズン
(病原微生物検出情報：2007年3月1日現在報告数)

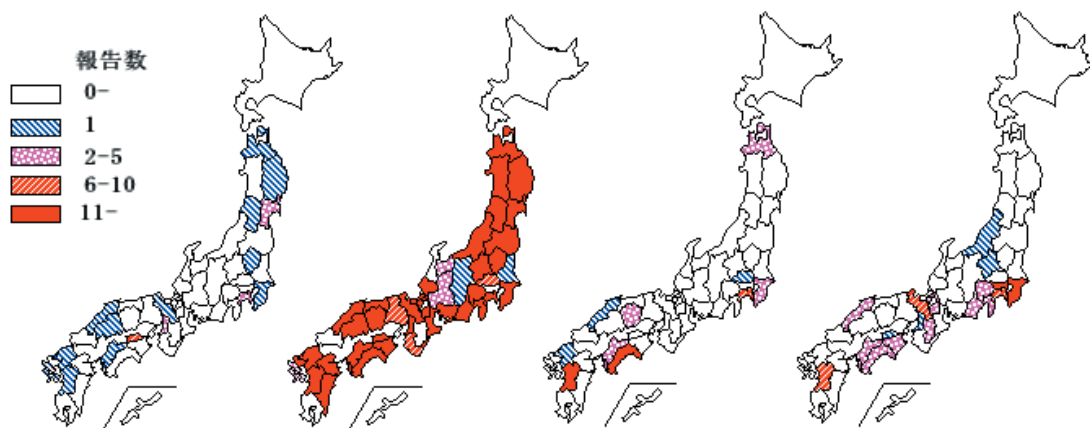


* 各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、2006/07シーズン
(病原微生物検出情報：2007年3月1日現在報告数)



Noro GI (31例) Noro GII (2598例) Sapo (51例) Rota A (85例)

* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report



2007年2月に福岡市の複数医療機関で採取された検体から分離されたAH1亜型ウイルスの抗原性 - 今後の抗原変異株の流行の可能性について

はじめに

WHOによれば、2006/07インフルエンザシーズンにおけるこれまでのインフルエンザウイルスの分離は、全世界的に例年になく低調であったが、その中、AH1亜型ウイルスは低調ながらも世界各国で分離されており、その多くは抗原性がこれまでワクチン株として使用されてきたA/New Caledonia/20/99株ウイルスと近いものの、次第に抗原性が同株と乖離しているウイルスが各地で分離されてきているという。これを受けてWHOは、来季北半球のインフルエンザワクチンのAH1コンポーネントについて、A/Solomon Islands/3/2006に変更する勧告を出している。この観点から、わが国での今シーズンのAH1亜型分離株の抗原性の動向は非常に気になるところである。

当ウイルスセンターは、通年、仙台市、山形市、福岡市周辺の医療機関からの呼吸器系ウイルス疾患疑いの患者由来の検体を集め、ウイルス分離に基づく呼吸器系ウイルスの疫学を展開しているが、その中で、今回分離ウイルスの抗原性を調べているうちに、AH1亜型ウイルスの中で、抗原性がワクチン株と大きく異なるウイルスの割合が半分近くを占めていたので、ここに報告する。

1月末～2月初めに福岡市から送られてきた検体からのウイルス分離状況と、分離されたAH1亜型ウイルスの抗原性解析の結果

今年は、1月に入ってもインフルエンザの流行がほとんどない年であるが、1月最後あたりから、とくに福岡市の検体からのインフルエンザウイルスの分離が相次いでいる。今回、2007年1月26日～2月7日の約2週間に限って報告する。

同期間のインフルエンザウイルスの分離総症例数は69例であり、そのうちAH1亜型ウイルスが43株(62%)、AH3亜型ウイルスが24株(35%)、B型が2株(3%)であり、AH1亜型ウイルスが優勢であった。

分離されたAH1亜型ウイルスについて、国立感染症研究所分与の同シーズン用ウイルス同定キットに含まれるA/New Caledonia/20/99に対するフェレット抗血清とモルモット赤血球を用いて、分離株に対して赤血球凝集阻止(HI)試験を行ったところ、ホモ価320のところ、HI価20の反応性を示した株が20株(47%)もあり、HI価40が7株(16%)、80が2株(5%)、160が14株(33%)、320はまったくなくなると、ホモ価から2管以上離れているものが68%もあり、4管以上が半分近くを占めていた。

なお、同期間中、当センターにおいて、仙台市の小児由来の検体から分離された16株中1株がAH1亜型ウイルスであったが、その抗原性はワクチン株とほぼ一致していた。よって、このような抗原変異株を含むAH1亜型の流行は、現在のところ地域限局的なものである可能性も考えられる。

わが国のAH1亜型ウイルスのワクチン株は、これまで過去5シーズン連続して、今シーズンと同じA/New Caledonia/20/99株ウイルスであり、流行ウイルスもそれと大きく抗原性が異なるものは出現してきていなかったが、以上の状況は、現状が地域限局か否かは別にして、今後、上記のような変異株AH1亜型ウイルスが日本各地で流行する可能性を考慮に入れるべきことを示唆する。

とくに、もし今回分離されているような、HI試験で現在のワクチン株と3～4管のずれを示すようなウイルスが流行する場合には、今シーズンのワクチンの効果にも影響してくる可能性もあり、今後十分な注意が必要と思われる。

おわりに: 今回のAH1亜型ウイルスの抗原性解析における経験 - 抗H1血清に対して極端な低反応性の株を解析する上での注意喚起

われわれのインフルエンザウイルスの分離は、検体をMDCK細胞に接種し、培養し、同細胞に出現するCPEを指標に行っており、亜型同定は、モルモット赤血球に対するHA活性のある培養上清に対して、国立感染症研究所分与の各シーズンのウイルス同定キットを用いたHI試験を実施している。だが、今回そうした過程で同定困難な例に当たったので、注意を喚起する意味で報告する。

今期間に初代培養上清でHA価8を認めた株の中に、培養上清原液を抗原としてHI試験を行ったとき、同上キットに含まれるどの抗血清にもまったく反応しなかった株が1株みられた(ホモ価 320のときHI価 < 10)。この培養上清について、市販のインフルエンザ抗原検出キットで調べたところ、A型陽性を示した。そこでやむを得ず、亜型同定のためにH1、H3、H5亜型のHA遺伝子をターゲットとするRT-PCR試験を行ったところ、H1のプライマーによるPCRでのみ特異的バンドが確認され、最終的にH1亜型と同定された。同じような例は、今回報告の43株のあとに分離された、2月13日採取の検体由来の分離ウイルスでも1株経験している。鳥インフルエンザ等が大きな注目を集めている現在、従来亜型以外の可能性も考慮すべきであり、今後注意が必要であろう。

国立病院機構仙台医療センター臨床研究部ウイルスセンター

岡本道子 近江 彰 千葉ふみ子 伊藤洋子 大宮 卓 清水みどり 堀 亨

畑岸悦子 山田堅一郎 榊原宏幸 渡邊王志 矢野寿一 西村秀一

しばおクリニック 芝尾京子

しんどう小児科 進藤静生

やました小児科 山下祐二

高崎小児科 高崎好生

(IASR 2007年4月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

ラオスでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR 2007年2月27日

ラオス人民民主共和国保健省は、本日、国内で初めてのH5N1型鳥インフルエンザウイルス感染患者を報告した。

ビエンチャン在住のこの15歳少女は、2月10日にインフルエンザ様症状を呈し、15日に発熱と呼吸器症状でビエンチャンの病院に入院した。患者は2月17日に隣国タイで診療を受け、現在 Nongkhai 公立病院に入院しているが、病状は安定している。ラオスの疫学者とタイの臨床医により採取された検体は、タイの国立保健研究所で検査が行われ、H5N1感染陽性であった。ラオス政府は検査のため、検体をWHO協力センターにも送付している。

タイとラオスの保健省及びWHO担当者からなるチームが2月24日と25日に、患者が居住していた村と、以前に家禽の死亡が発生した地域の状況を調査した。患者との濃厚接触者が判明し、毎日観察が行われている。成人にはオセルタミビル予防投与が行われたが、現在、これらの人々は健康である。

中国での鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR 2007年3月1日

中国保健省は、H5N1型鳥インフルエンザウイルスに感染した患者1名を報告した。

患者は福建省Jian ǒu県の44歳女性で、2月18日に発熱および肺炎で発症し、22日に入院し、現在は危篤状態である。感染の確定は、2月26日に福建省の研究所、次の日に国立研究所で行われた。

WHOに提供された情報によると、患者は裏庭で鳥を飼育していた農婦であり、病鳥に曝露された可能性が示唆されている。この曝露が感染源であったかどうかを決定するための調査が行われている。患者との濃厚接触者は医療観察下に置かれている。

中国で現在までに感染が確定された23名のうち、14名が死亡している。

エジプトでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR 2007年3月1日 - 更新7

エジプト保健人口省は、新たな鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルス感染患者1名を発表した。

患者は、エジプト中央公衆衛生研究所および米国海軍医学研究所Unit No.3(NAMRU-3)で確定された。

Dakahlea行政地区の4歳少女が2月25日に発症し、26日に入院した。病状は安定している。

少女は、発症の1週間前に家で病鳥に曝露されていた。少女との接触者には健康に異常を呈した者はみられていないが、綿密に観察が行われている。

エジプトで現在までに感染が確定された23名のうち、13名が死亡している。

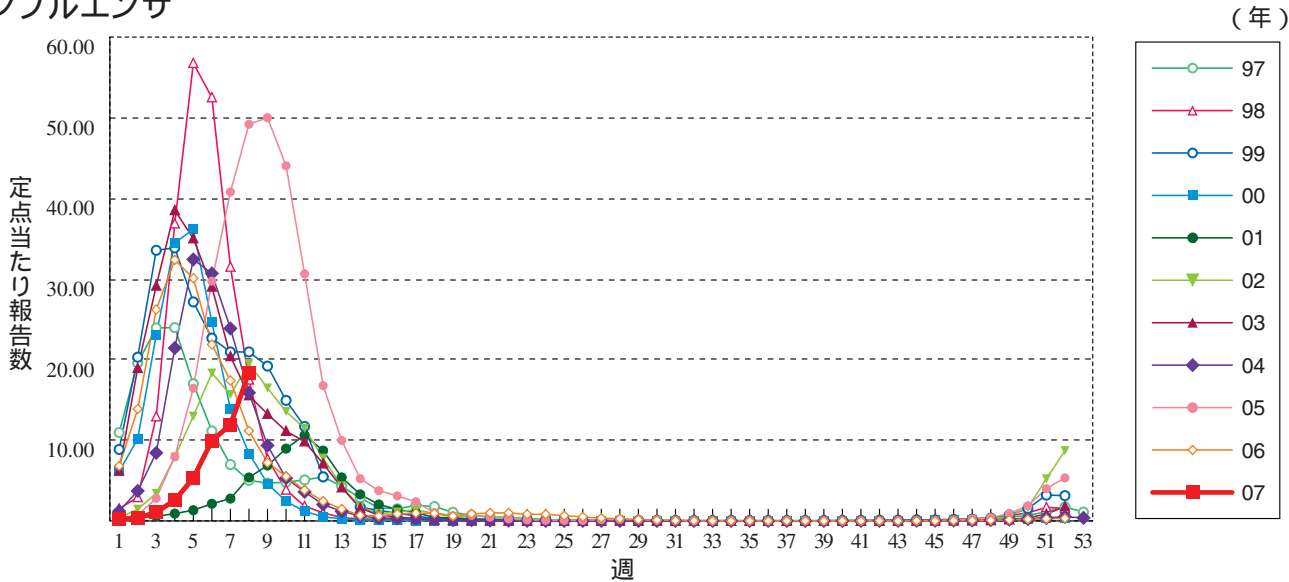


感染症の話

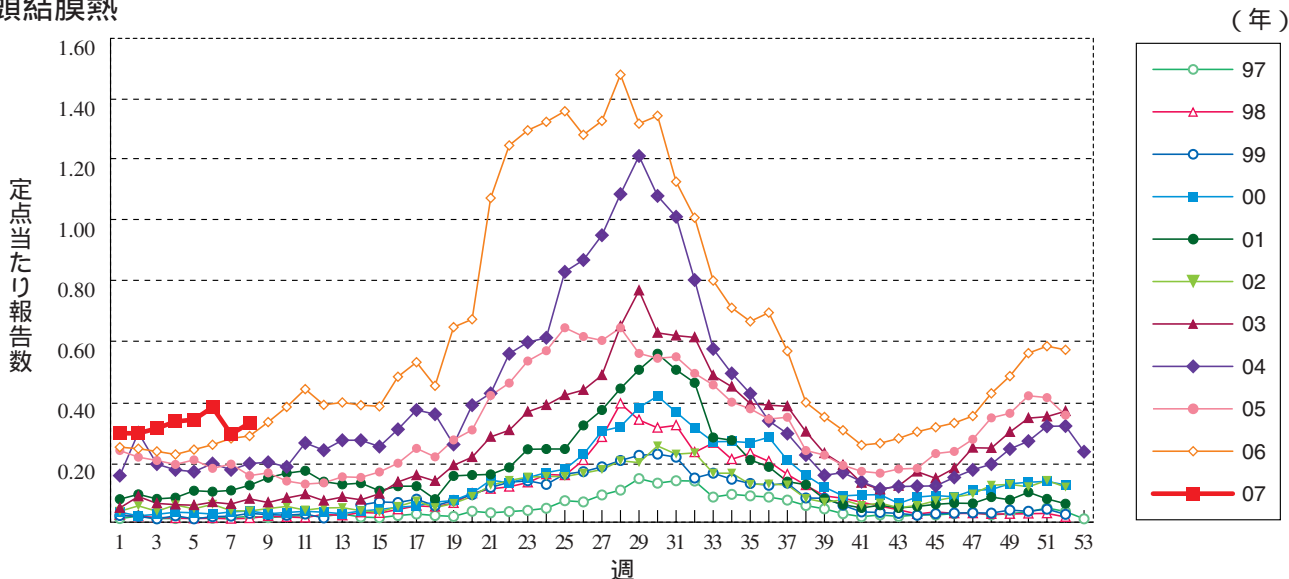
今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

グラフ総覧(8週)

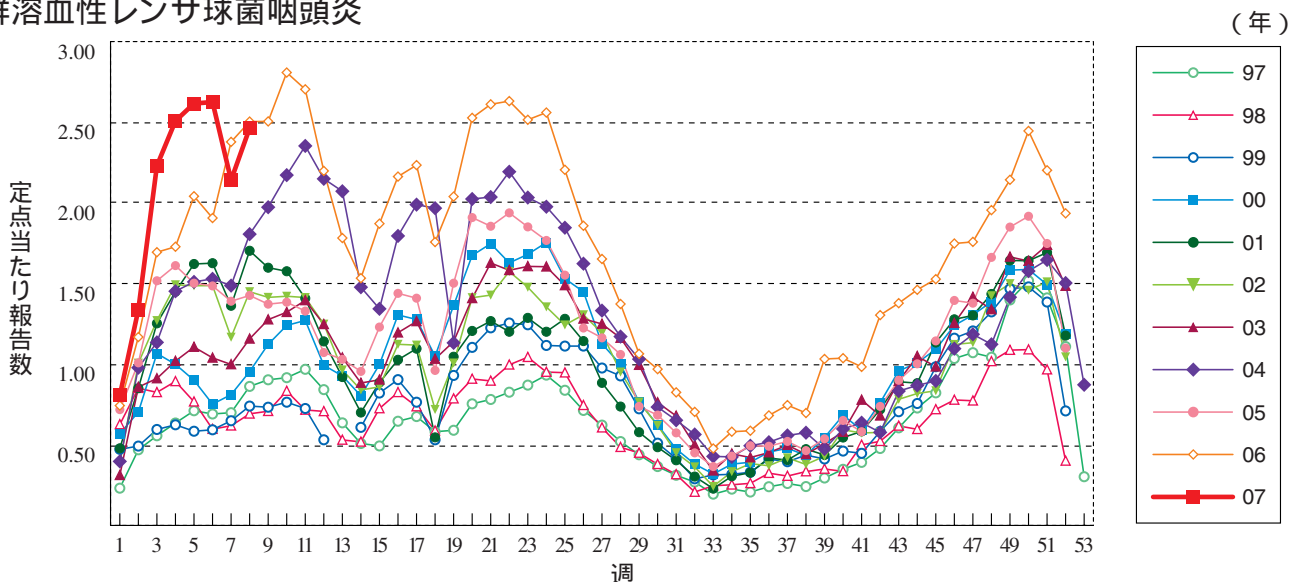
インフルエンザ



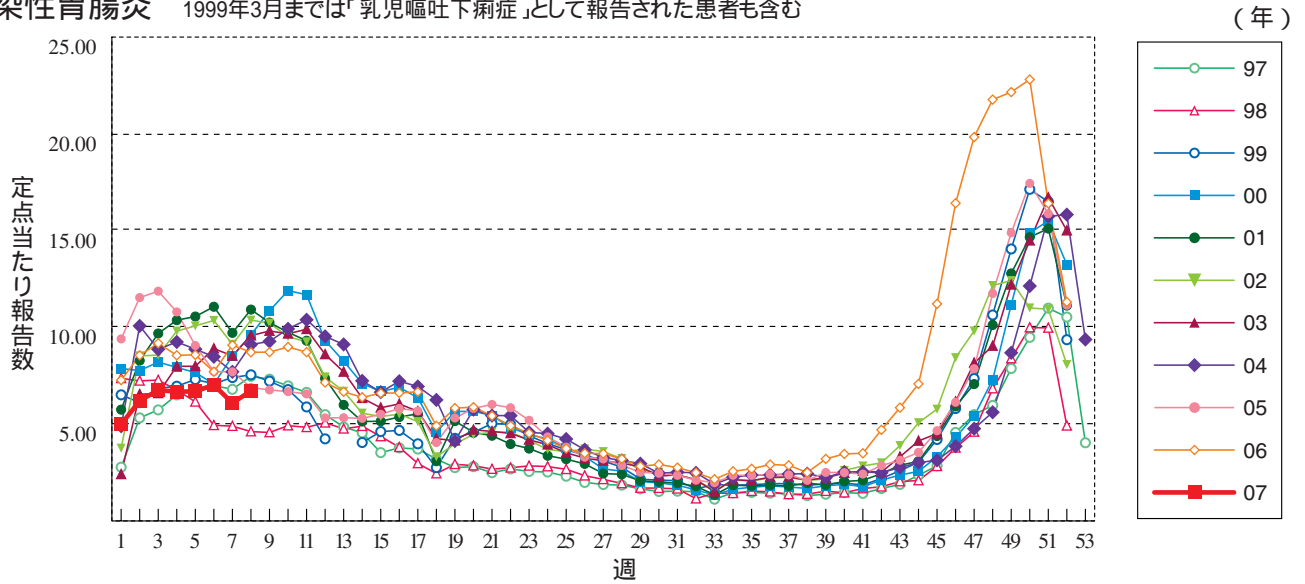
咽頭結膜熱



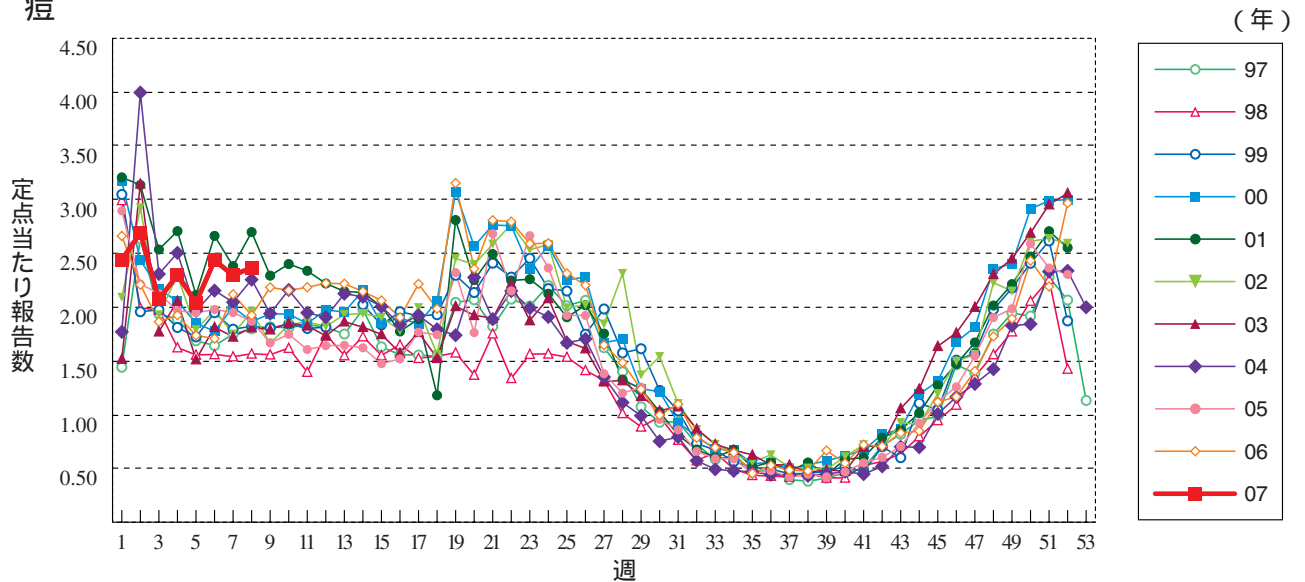
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



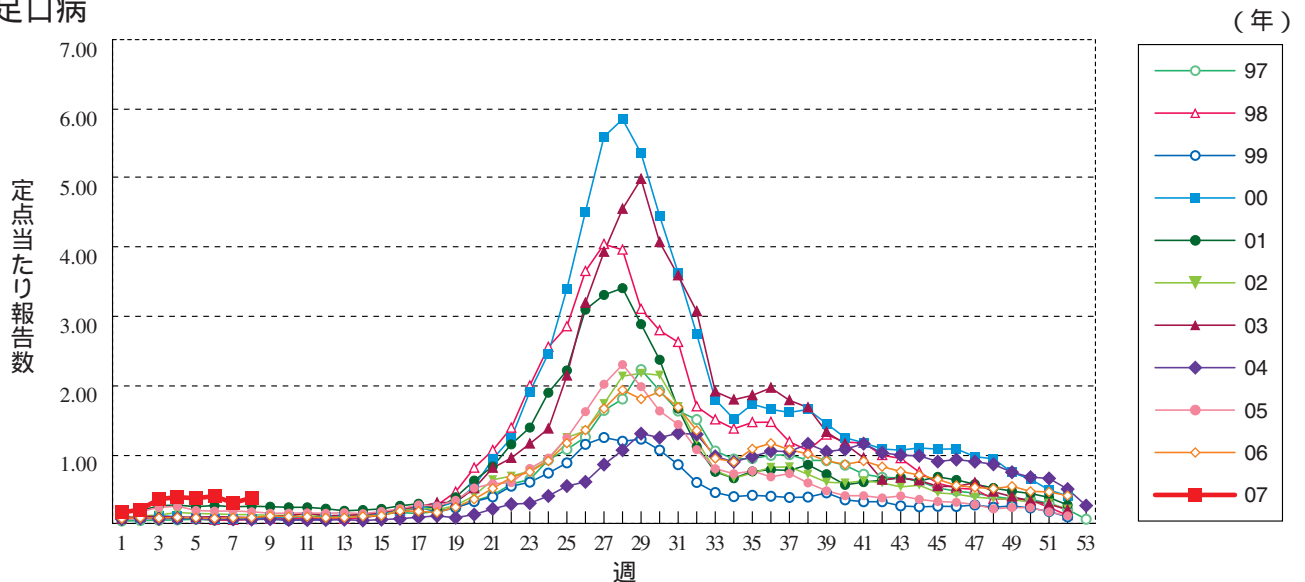
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



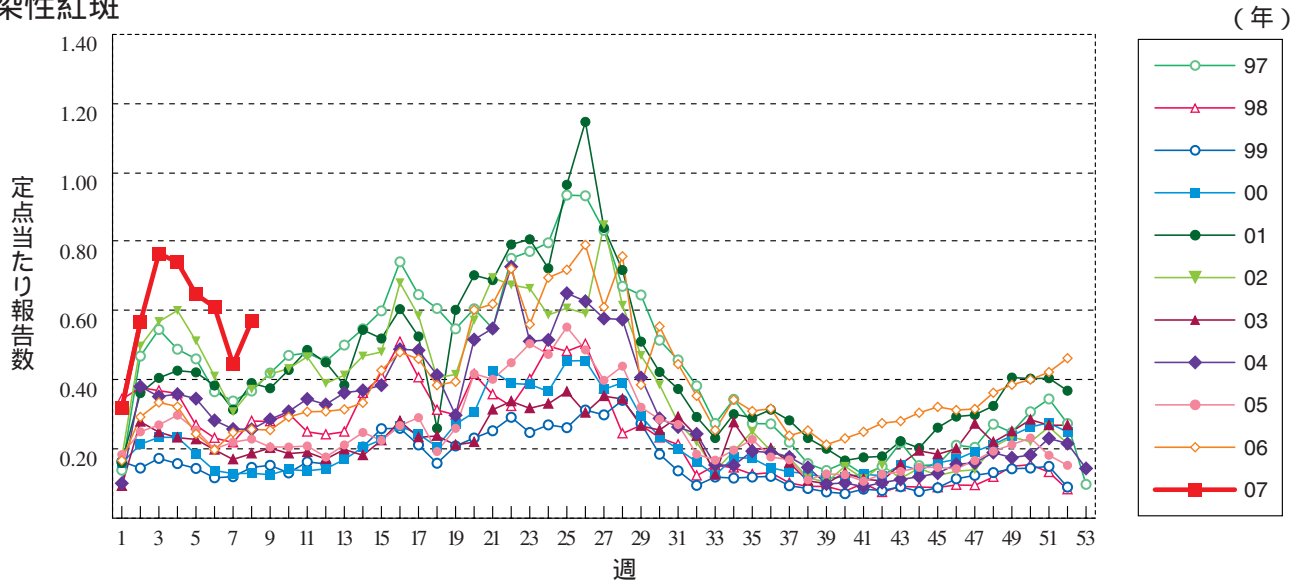
水痘



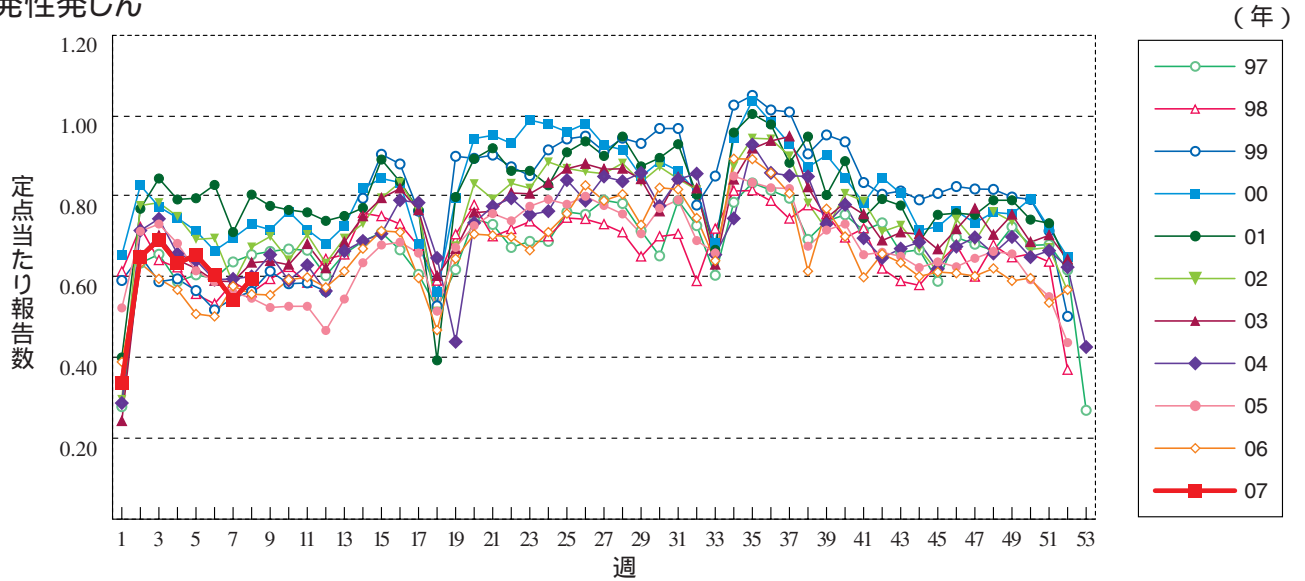
手足口病



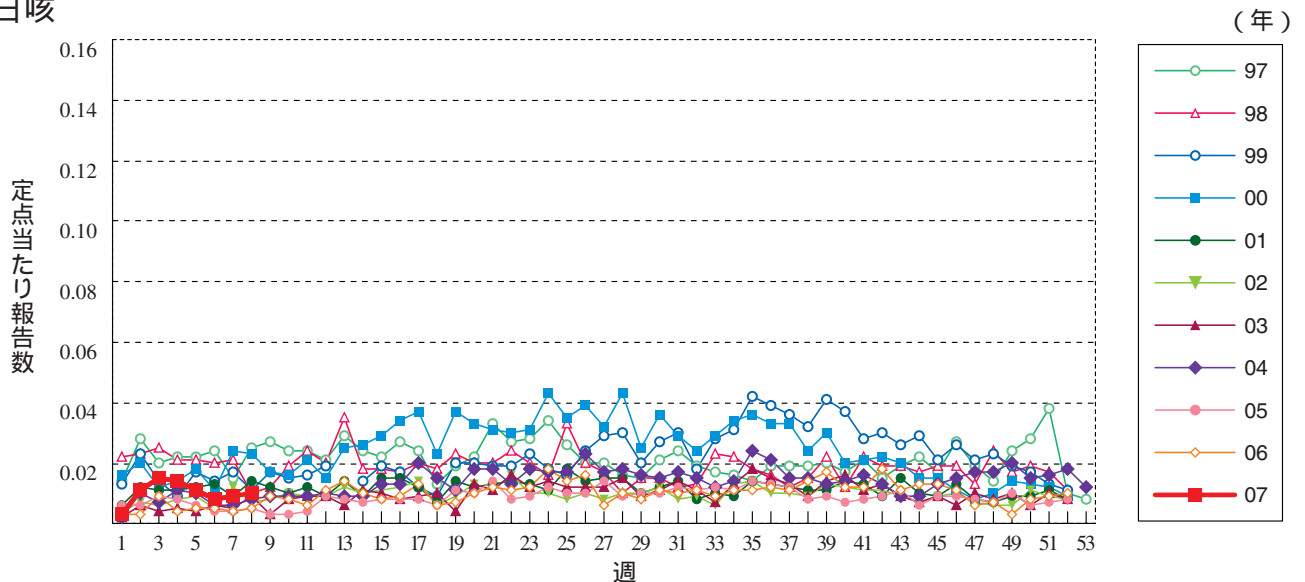
伝染性紅斑



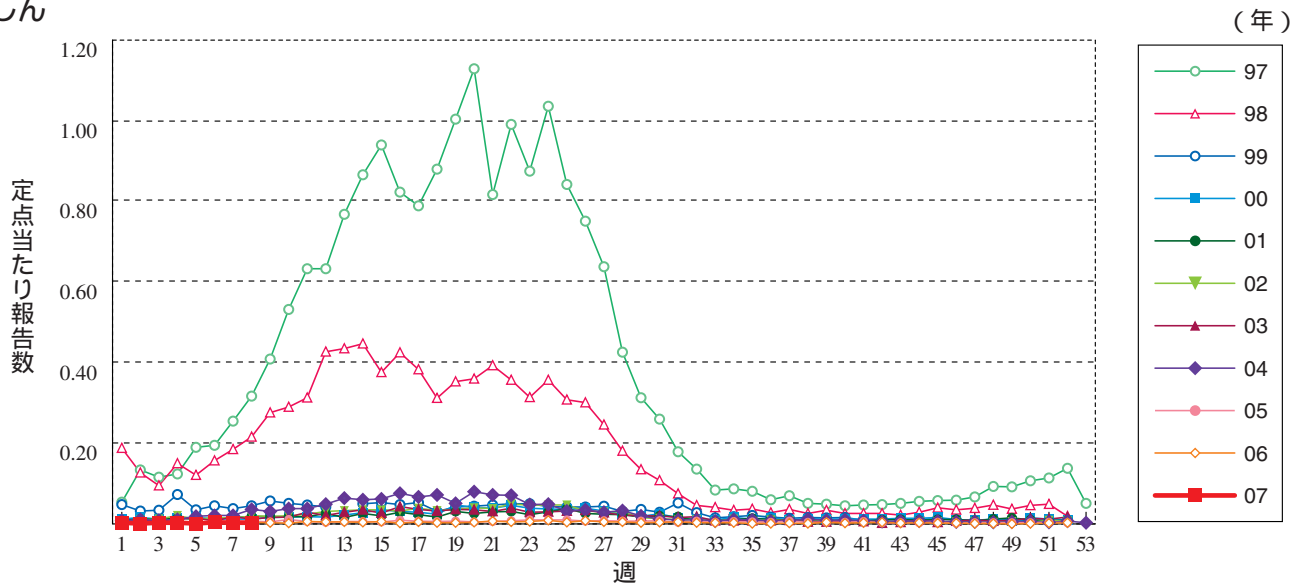
突発性発しん



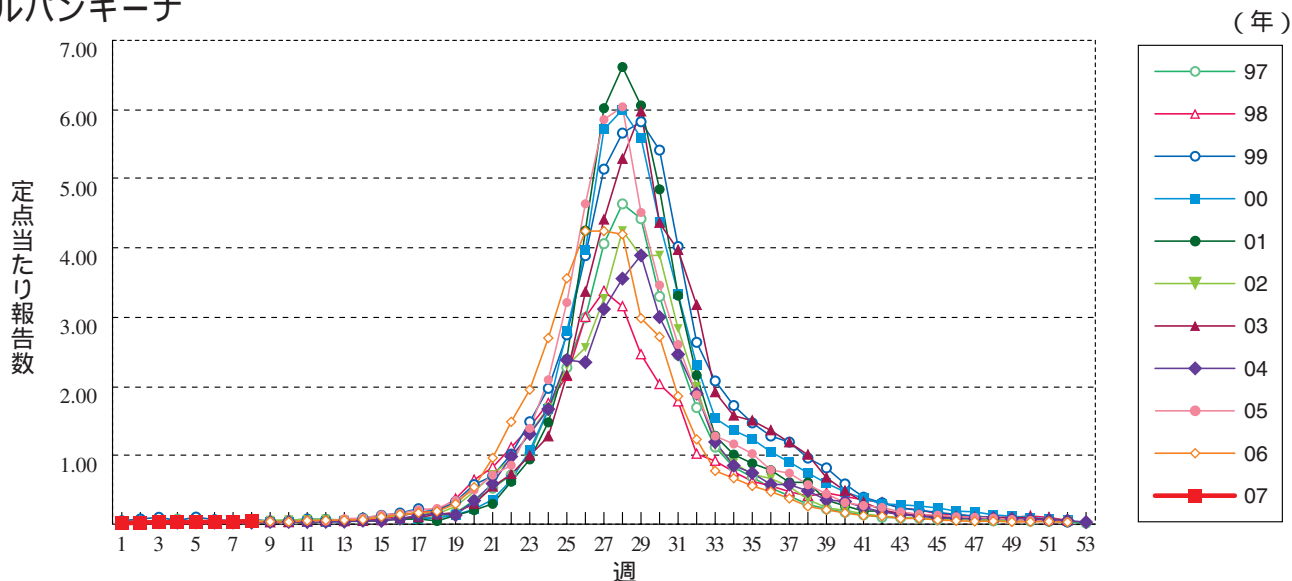
百日咳



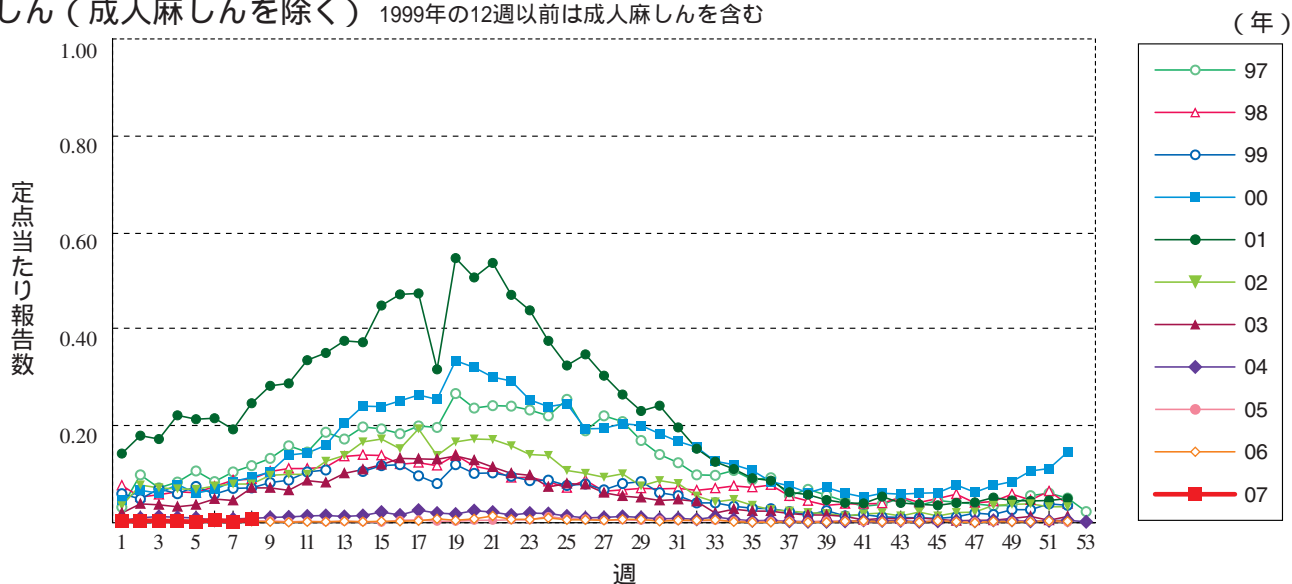
風しん



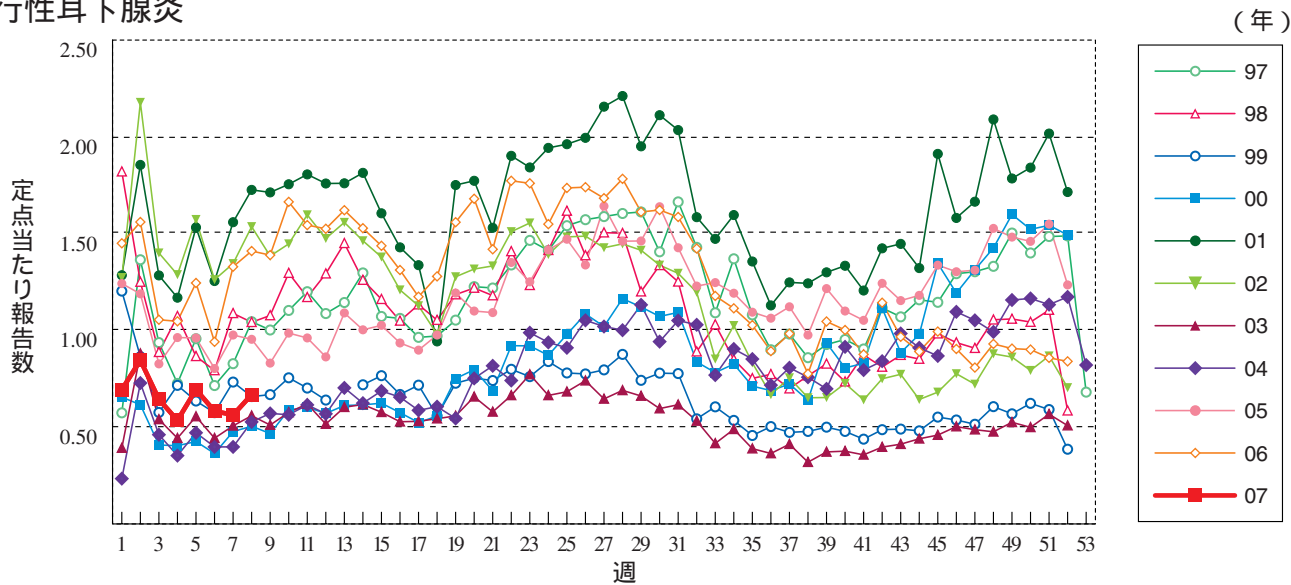
ヘルパンギーナ



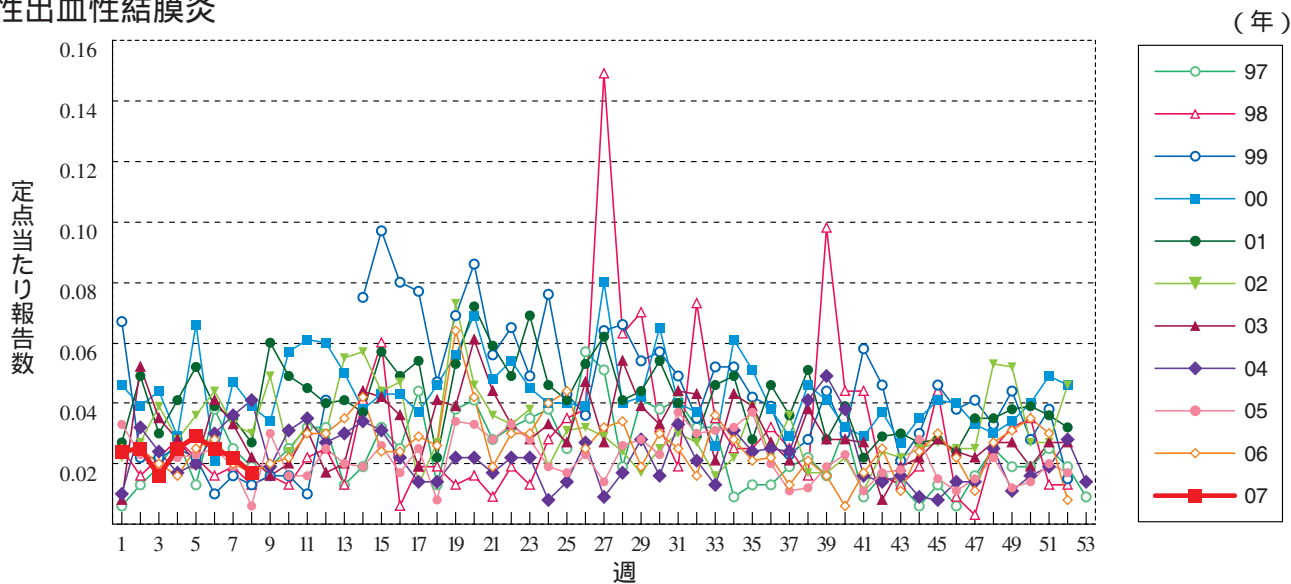
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



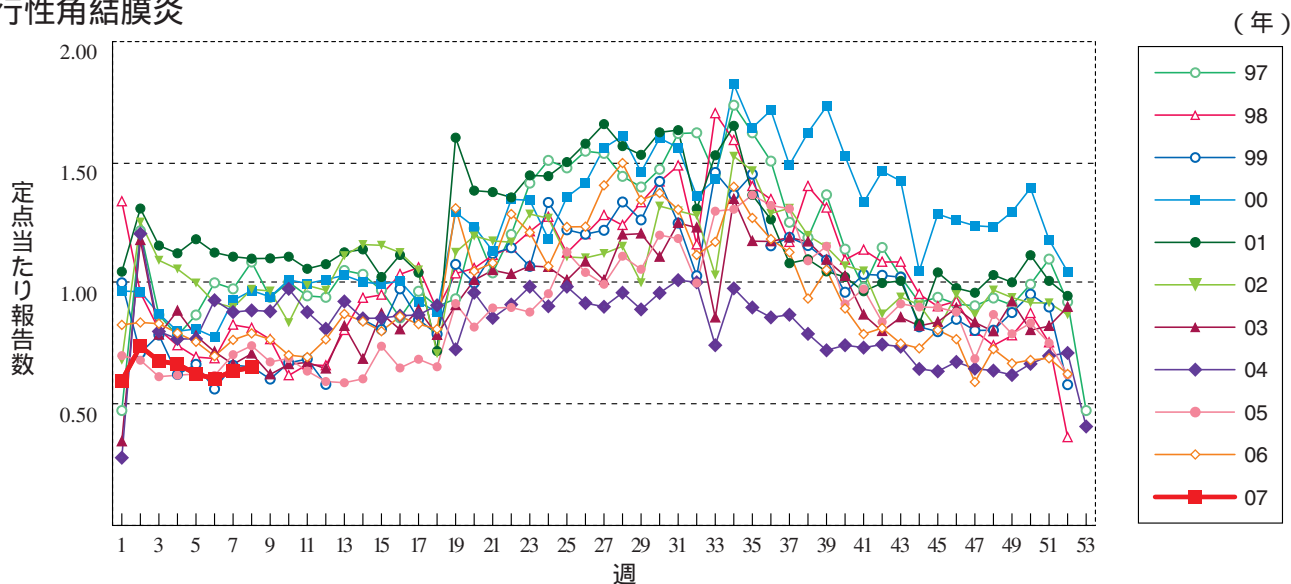
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

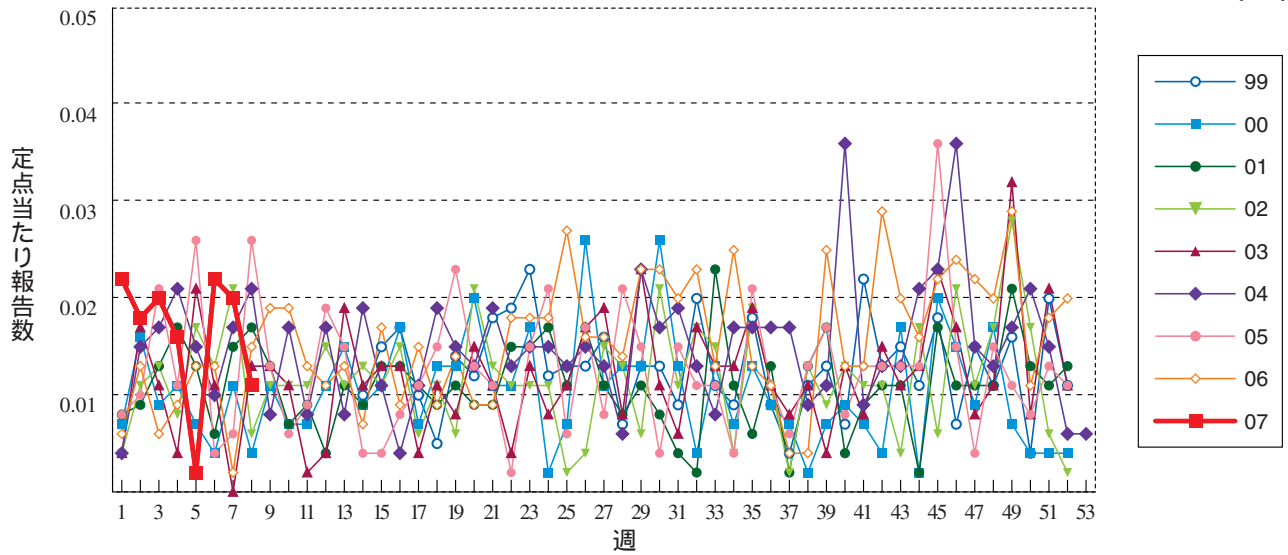


流行性角結膜炎



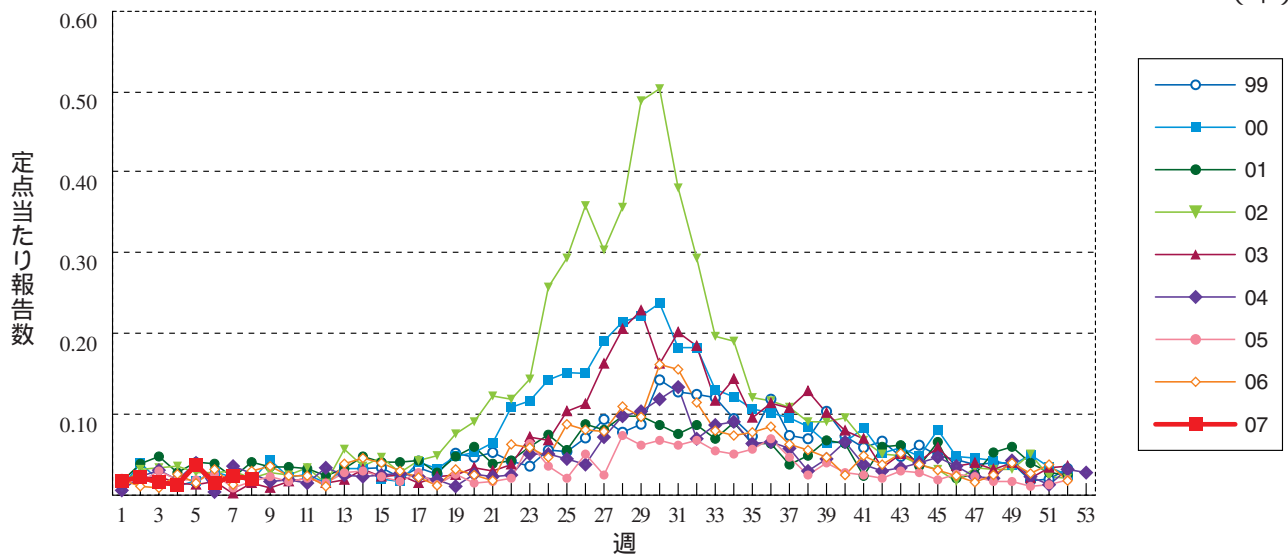
細菌性髄膜炎

(年)



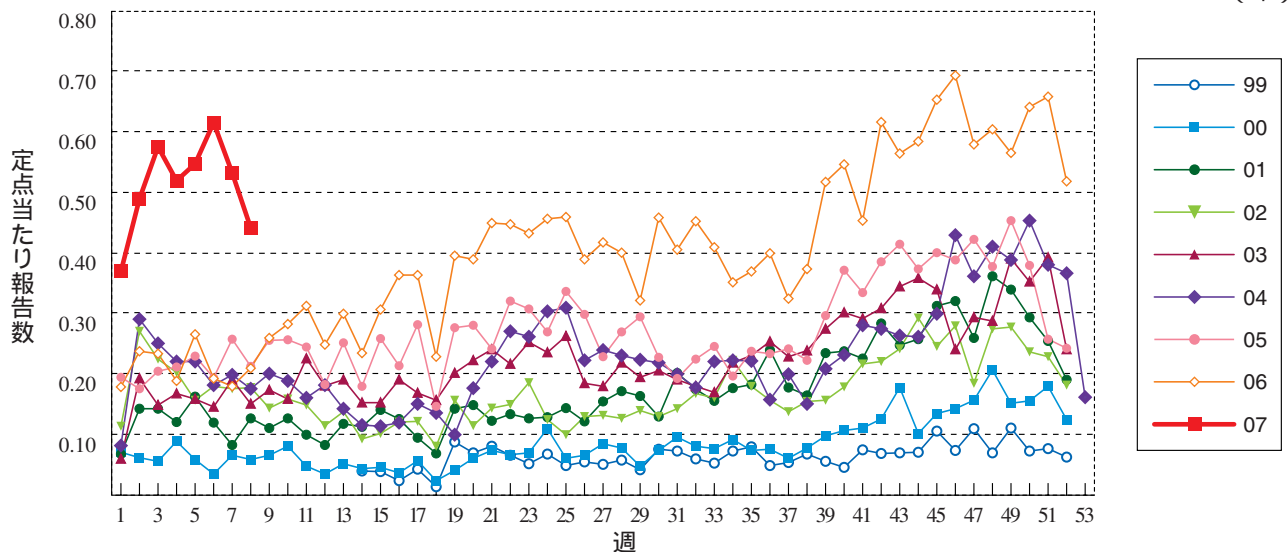
無菌性髄膜炎

(年)



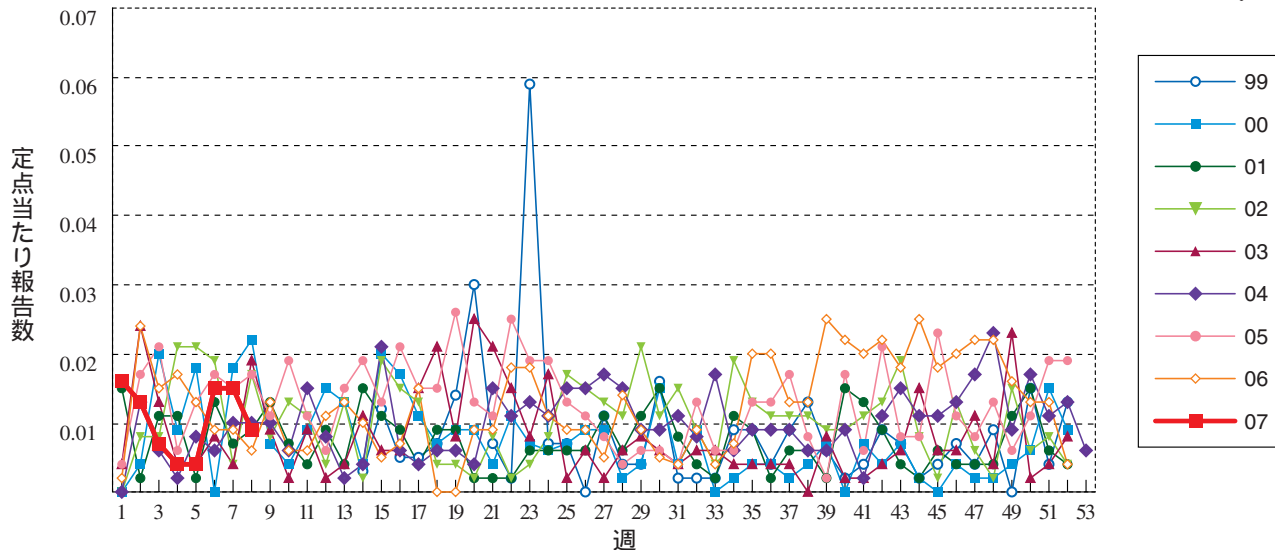
マイコプラズマ肺炎

(年)



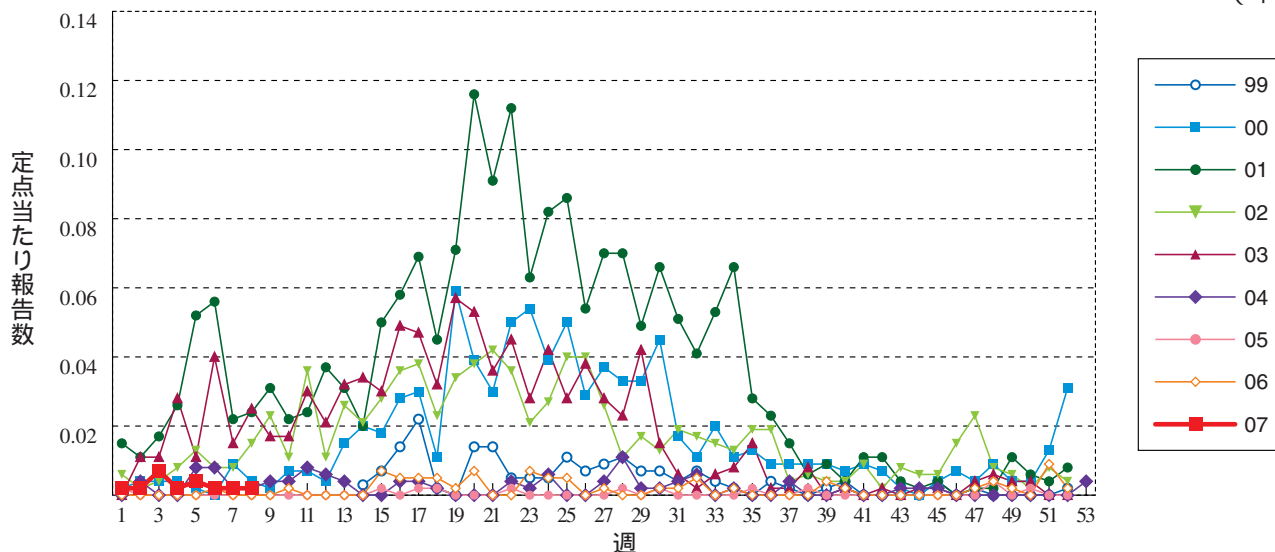
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



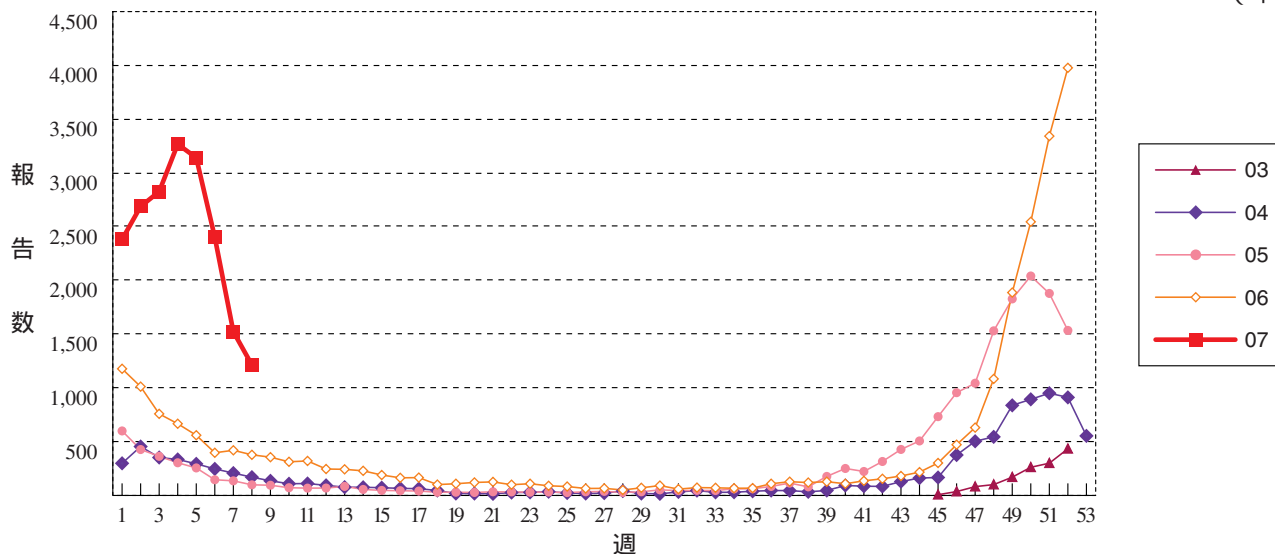
成人麻しん

(年)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)





8週のデータ

注1) 表中の報告数は2月28日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。

2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。

注2) また報告システム変更の影響により、ここの「累積」においては漏れている報告例もありますが、近いうちにそれらも反映する予定です。

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2007年8週

	エボラ出血熱		クリミア ・コンゴ出血熱		重症急性呼吸器 症候群*		痘 そう		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		コレラ		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年8週

	細菌性赤痢		ジフテリア		腸チフス		パラチフス		腸管出血性大腸菌感染症		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		エキノコックス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	3	80	-	-	-	3	-	4	7	105	-	6	-	-	5	32	-	2
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	12	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	1	1	-	-
東京都	-	10	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-	1	7	-	1
神奈川県	1	4	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	1	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	8	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	1	1	-	-
愛知県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-
大阪府	2	24	-	-	-	1	-	1	2	10	-	-	-	-	-	2	-	-
兵庫県	-	3	-	-	-	1	-	-	1	5	-	-	-	-	-	2	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-
広島県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	17	-	-	-	-	-	1	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年8週

	黄熱		オウム病		回帰熱		Q熱		狂犬病		高病原性鳥インフルエンザ		コクシジオイデス症		サル痘		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	2	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年8週

	炭 疽		つつが虫病		デング熱		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	35	3	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年8週

	発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス感染症		レジオネラ症		レプトスピラ症		アメーバ赤痢	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	1	1	3	-	-	-	-	-	-	4	54	-	1	6	99
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3
東京都	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	22
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	11
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	3
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	8
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	9
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	4
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。
 **ウエストナイル脳炎および日本脳炎を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年8週

	ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	24	1	24	-	1	2	21	1	20	12	175	-	4	-	1	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	2	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	1	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	1	3	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	7	-	-	-	-	1	-	-	5	54	-	2	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	1	-	-	-	-	3	2	20	-	1	-	-	-	-	-
新潟県	-	1	-	-	-	1	1	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	1	-	-	1	-	1	2	19	-	-	-	1	-	-	-
三重県	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	4	-	5	-	-	1	-	1	-	18	-	1	-	-	-	-	-
兵庫県	-	2	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	1	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年8週

	梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		インフルエンザ (H5N1)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	6	61	1	8	-	-	2	14	-	-
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
千葉県	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	6	-	-	-	-	1	4	-	-
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	2	-	1	-	-	1	1	-	-
静岡県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	4	-	1	-	-	-	1	-	-
兵庫県	1	3	-	-	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	4	-	-	-	-	-	2	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	3	1	3	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

*高病原性鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2007年8週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	87833	18.36	993	0.33	7450	2.46	20326	6.72	7158	2.37	1123	0.37	1723	0.57	1804	0.60	31	0.01
北海道	3827	16.79	42	0.29	594	4.15	363	2.54	278	1.94	11	0.08	122	0.85	70	0.49	2	0.01
青森県	218	3.35	35	0.83	134	3.19	129	3.07	70	1.67	2	0.05	23	0.55	13	0.31	1	0.02
岩手県	450	7.14	6	0.15	65	1.67	143	3.67	77	1.97	13	0.33	34	0.87	20	0.51	1	0.03
宮城県	1380	13.94	12	0.20	115	1.89	501	8.21	106	1.74	6	0.10	72	1.18	44	0.72	-	-
秋田県	663	12.05	18	0.51	78	2.23	182	5.20	85	2.43	7	0.20	17	0.49	9	0.26	-	-
山形県	1148	23.92	28	0.93	90	3.00	163	5.43	62	2.07	34	1.13	8	0.27	14	0.47	-	-
福島県	1375	17.19	18	0.38	155	3.23	350	7.29	102	2.13	9	0.19	21	0.44	31	0.65	1	0.02
茨城県	1753	15.38	18	0.24	269	3.59	364	4.85	136	1.81	19	0.25	16	0.21	25	0.33	-	-
栃木県	860	11.78	4	0.09	115	2.45	148	3.15	56	1.19	1	0.02	33	0.70	24	0.51	6	0.13
群馬県	1604	16.04	7	0.11	222	3.58	371	5.98	167	2.69	8	0.13	34	0.55	35	0.56	-	-
埼玉県	5253	20.36	77	0.48	466	2.88	1341	8.28	367	2.27	35	0.22	97	0.60	106	0.65	-	-
千葉県	4106	19.65	35	0.27	353	2.72	771	5.93	283	2.18	30	0.23	55	0.42	75	0.58	2	0.02
東京都	4256	15.20	35	0.25	268	1.90	782	5.55	216	1.53	13	0.09	60	0.43	69	0.49	4	0.03
神奈川県	5369	16.94	43	0.22	519	2.61	1552	7.80	484	2.43	28	0.14	78	0.39	149	0.75	4	0.02
新潟県	1620	16.88	30	0.49	329	5.39	435	7.13	182	2.98	1	0.02	52	0.85	34	0.56	-	-
富山県	536	11.17	42	1.45	240	8.28	261	9.00	81	2.79	12	0.41	93	3.21	15	0.52	-	-
石川県	736	15.33	12	0.41	130	4.48	254	8.76	77	2.66	1	0.03	48	1.66	17	0.59	1	0.03
福井県	836	26.13	8	0.36	58	2.64	255	11.59	70	3.18	21	0.95	30	1.36	8	0.36	-	-
山梨県	587	14.68	2	0.08	54	2.25	100	4.17	37	1.54	1	0.04	11	0.46	6	0.25	-	-
長野県	2014	22.89	38	0.69	111	2.02	387	7.04	115	2.09	4	0.07	78	1.42	22	0.40	1	0.02
岐阜県	1523	17.51	15	0.28	43	0.81	186	3.51	71	1.34	2	0.04	36	0.68	19	0.36	-	-
静岡県	1860	13.88	20	0.23	183	2.13	940	10.93	239	2.78	-	-	76	0.88	59	0.69	-	-
愛知県	6417	33.08	49	0.27	309	1.71	1220	6.74	297	1.64	24	0.13	121	0.67	107	0.59	-	-
三重県	2441	33.44	21	0.47	114	2.53	300	6.67	96	2.13	20	0.44	27	0.60	29	0.64	1	0.02
滋賀県	1251	23.60	5	0.16	22	0.69	74	2.31	74	2.31	3	0.09	8	0.25	13	0.41	-	-
京都府	2310	18.63	5	0.07	120	1.60	331	4.41	146	1.95	17	0.23	42	0.56	20	0.27	-	-
大阪府	7047	24.64	57	0.30	400	2.09	1179	6.17	373	1.95	54	0.28	87	0.46	120	0.63	2	0.01
兵庫県	3781	19.00	16	0.12	169	1.31	820	6.36	303	2.35	19	0.15	59	0.46	72	0.56	2	0.02
奈良県	1281	23.29	8	0.23	41	1.17	118	3.37	89	2.54	1	0.03	18	0.51	13	0.37	-	-
和歌山県	737	14.74	11	0.35	41	1.32	209	6.74	106	3.42	9	0.29	12	0.39	22	0.71	-	-
鳥取県	405	13.97	17	0.89	115	6.05	152	8.00	48	2.53	14	0.74	-	-	14	0.74	-	-
島根県	439	11.55	16	0.70	42	1.83	162	7.04	80	3.48	3	0.13	4	0.17	16	0.70	-	-
岡山県	671	8.28	21	0.39	56	1.04	275	5.09	129	2.39	24	0.44	10	0.19	36	0.67	-	-
広島県	1656	14.40	40	0.56	110	1.53	459	6.38	99	1.38	10	0.14	13	0.18	40	0.56	-	-
山口県	1083	15.47	38	0.78	174	3.55	459	9.37	123	2.51	11	0.22	25	0.51	34	0.69	-	-
徳島県	281	6.85	1	0.05	28	1.27	248	11.27	44	2.00	-	-	10	0.45	16	0.73	-	-
香川県	163	3.33	3	0.10	43	1.43	185	6.17	101	3.37	3	0.10	6	0.20	27	0.90	-	-
愛媛県	313	5.13	3	0.08	165	4.46	430	11.62	106	2.86	23	0.62	32	0.86	38	1.03	-	-
高知県	213	4.44	3	0.10	43	1.43	166	5.53	59	1.97	2	0.07	8	0.27	12	0.40	-	-
福岡県	6772	34.20	29	0.24	295	2.46	1168	9.73	393	3.28	138	1.15	38	0.32	89	0.74	1	0.01
佐賀県	840	21.54	12	0.52	50	2.17	127	5.52	73	3.17	38	1.65	1	0.04	30	1.30	-	-
長崎県	917	13.10	15	0.34	39	0.89	382	8.68	115	2.61	106	2.41	11	0.25	22	0.50	-	-
熊本県	1301	16.26	24	0.50	135	2.81	631	13.15	145	3.02	59	1.23	9	0.19	45	0.94	-	-
大分県	1451	25.02	14	0.39	66	1.83	385	10.69	230	6.39	35	0.97	21	0.58	34	0.94	1	0.03
宮崎県	1414	23.97	15	0.42	130	3.61	437	12.14	183	5.08	151	4.19	41	1.14	41	1.14	-	-
鹿児島県	1389	14.94	22	0.39	116	2.07	334	5.96	203	3.63	99	1.77	19	0.34	39	0.70	-	-
沖縄県	1286	22.17	3	0.09	36	1.06	97	2.85	182	5.35	2	0.06	7	0.21	11	0.32	1	0.03

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2007年8週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	8	0.00	135	0.04	22	0.01	2021	0.67	11	0.02	415	0.65	5	0.01	9	0.02	200	0.44
北海道	-	-	1	0.01	-	-	102	0.71	-	-	15	0.52	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	1	0.02	-	-	60	1.43	-	-	6	0.55	-	-	-	-	11	1.83
岩手県	-	-	8	0.21	-	-	52	1.33	-	-	17	1.42	-	-	1	0.05	4	0.20
宮城県	-	-	1	0.02	1	0.02	78	1.28	1	0.08	4	0.33	1	0.08	-	-	13	1.08
秋田県	-	-	-	-	-	-	28	0.80	-	-	1	0.14	-	-	1	0.13	-	-
山形県	-	-	1	0.03	-	-	-	-	-	-	1	0.13	-	-	-	-	13	1.30
福島県	-	-	-	-	-	-	27	0.56	-	-	19	1.58	-	-	-	-	2	0.29
茨城県	-	-	1	0.01	-	-	17	0.23	1	0.06	29	1.81	-	-	-	-	5	0.45
栃木県	-	-	-	-	-	-	47	1.00	-	-	13	1.08	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	3	0.05	-	-	54	0.87	-	-	8	0.57	-	-	-	-	11	1.38
埼玉県	-	-	3	0.02	11	0.07	69	0.43	-	-	36	0.90	-	-	-	-	10	1.11
千葉県	-	-	5	0.04	3	0.02	31	0.24	-	-	24	0.75	1	0.11	2	0.22	1	0.11
東京都	1	0.01	1	0.01	1	0.01	43	0.30	-	-	20	1.43	-	-	2	0.09	2	0.09
神奈川県	2	0.01	-	-	1	0.01	102	0.51	3	0.08	35	0.92	-	-	-	-	5	0.63
新潟県	-	-	1	0.02	-	-	176	2.89	-	-	4	0.36	-	-	-	-	13	1.08
富山県	-	-	-	-	-	-	23	0.79	1	0.14	3	0.43	-	-	-	-	2	0.40
石川県	-	-	-	-	-	-	7	0.24	-	-	2	0.29	-	-	-	-	2	0.40
福井県	-	-	-	-	-	-	3	0.14	-	-	-	-	2	0.33	-	-	-	-
山梨県	-	-	1	0.04	-	-	9	0.38	1	0.11	3	0.33	-	-	-	-	2	0.20
長野県	-	-	-	-	-	-	35	0.64	-	-	4	0.36	-	-	-	-	3	0.27
岐阜県	-	-	1	0.02	-	-	16	0.30	-	-	1	0.10	-	-	-	-	5	1.00
静岡県	-	-	-	-	-	-	35	0.41	-	-	7	0.35	-	-	-	-	7	0.70
愛知県	-	-	4	0.02	-	-	77	0.43	-	-	9	0.26	-	-	-	-	6	0.50
三重県	-	-	-	-	-	-	63	1.40	-	-	4	0.33	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	12	0.38	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	1	0.01	-	-	22	0.29	-	-	3	0.17	-	-	-	-	-	-
大阪府	4	0.02	4	0.02	4	0.02	106	0.55	1	0.02	14	0.33	-	-	1	0.08	11	0.92
兵庫県	-	-	4	0.03	-	-	148	1.15	-	-	13	0.37	-	-	-	-	2	0.18
奈良県	-	-	-	-	-	-	10	0.29	-	-	2	0.22	-	-	-	-	2	0.33
和歌山県	-	-	-	-	-	-	17	0.55	-	-	2	0.50	-	-	2	0.18	1	0.09
鳥取県	-	-	-	-	-	-	9	0.47	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20
島根県	-	-	3	0.13	-	-	21	0.91	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	13	0.24	-	-	42	0.78	-	-	4	0.33	1	0.20	-	-	8	1.60
広島県	-	-	9	0.13	-	-	21	0.29	1	0.05	12	0.63	-	-	-	-	6	0.29
山口県	-	-	26	0.53	-	-	25	0.51	-	-	4	0.44	-	-	-	-	2	0.22
徳島県	-	-	-	-	-	-	12	0.55	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	2	0.07	-	-	27	0.90	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	30	0.81	-	-	15	1.88	-	-	-	-	-	-
高知県	1	0.03	-	-	-	-	41	1.37	-	-	5	1.67	-	-	-	-	2	0.29
福岡県	-	-	20	0.17	1	0.01	99	0.83	-	-	9	0.35	-	-	-	-	1	0.07
佐賀県	-	-	-	-	-	-	7	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.67
長崎県	-	-	1	0.02	-	-	7	0.16	2	0.25	14	1.75	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	12	0.25	-	-	13	0.27	-	-	14	1.56	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	5	0.14	-	-	32	0.89	-	-	2	0.40	-	-	-	-	2	0.18
宮崎県	-	-	2	0.06	-	-	91	2.53	-	-	8	1.33	-	-	-	-	1	0.14
鹿児島県	-	-	1	0.02	-	-	45	0.80	-	-	10	1.43	-	-	-	-	4	0.33
沖縄県	-	-	-	-	-	-	30	0.88	-	-	16	1.60	-	-	-	-	36	5.14

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 2007年8週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	4	0.01	1	0.00	1214
北海道	-	-	-	-	76
青森県	-	-	-	-	16
岩手県	-	-	-	-	10
宮城県	-	-	-	-	10
秋田県	-	-	-	-	42
山形県	-	-	-	-	17
福島県	-	-	-	-	25
茨城県	-	-	-	-	6
栃木県	-	-	-	-	12
群馬県	-	-	1	0.13	2
埼玉県	-	-	-	-	6
千葉県	-	-	-	-	9
東京都	-	-	-	-	17
神奈川県	-	-	-	-	16
新潟県	1	0.08	-	-	21
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	4
福井県	-	-	-	-	13
山梨県	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	11
岐阜県	-	-	-	-	31
静岡県	-	-	-	-	51
愛知県	-	-	-	-	93
三重県	-	-	-	-	38
滋賀県	-	-	-	-	8
京都府	-	-	-	-	15
大阪府	-	-	-	-	112
兵庫県	-	-	-	-	76
奈良県	-	-	-	-	15
和歌山県	-	-	-	-	30
鳥取県	-	-	-	-	4
島根県	-	-	-	-	7
岡山県	-	-	-	-	32
広島県	-	-	-	-	50
山口県	-	-	-	-	49
徳島県	-	-	-	-	23
香川県	-	-	-	-	20
愛媛県	-	-	-	-	25
高知県	-	-	-	-	52
福岡県	-	-	-	-	43
佐賀県	-	-	-	-	7
長崎県	-	-	-	-	18
熊本県	-	-	-	-	25
大分県	-	-	-	-	10
宮崎県	-	-	-	-	33
鹿児島県	3	0.25	-	-	24
沖縄県	-	-	-	-	9

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年8週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群 (SARS)						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2007年8週

	インフルエンザ(H5N1)	
	鳥類	
	報告数	累積
総数	-	4
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	1
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	3
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

感染症週報 第9巻 第8号 2007年3月9日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
 <厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。